

小山市経済動向実態調査

(令和元年度最終報告書)

令和2年3月

小山市産業観光部商業観光課委託

白鷗大学ビジネス開発研究所

小山市経済動向実態調査
(令和元年度最終報告書)

目次

| | |
|--------------------------------------|-------|
| 要旨 | 1 頁 |
| I. 小山市景気動向アンケート調査結果 (令和元年度第 2 回) | 4 頁 |
| 1. 調査の目的 | 4 頁 |
| 2. 調査対象・調査内容 | 4 頁 |
| 3. 調査結果 | 7 頁 |
| II. 小山市経済動向ヒアリング調査 | 2 6 頁 |
| III. まとめ | 3 3 頁 |
| (参考資料) | |
| 1. 小山市景気動向アンケート調査票 (令和元年度第 2 回) | 3 5 頁 |
| 2. 小山市景気動向アンケート調査 (令和元年度第 2 回) の回答一覧 | 3 9 頁 |
| 3. 小山市景気動向アンケート調査 (時系列データ) | 5 7 頁 |

小山市経済動向実態調査プロジェクトメンバー

| | |
|---------------------------|-------|
| 白鷗大学経営学部教授・ビジネス開発研究所運営委員 | 吉川 薫 |
| 白鷗大学経営学部准教授・ビジネス開発研究所運営委員 | 西谷勢至子 |
| 白鷗大学総合研究所担当職員 | 櫻庭 律子 |

(協力) 白鷗大学経営学部教授・ビジネス開発研究所所長 小笠原 伸

小山市経済動向実態調査 最終報告書（令和元年度）

令和2年3月
白鷗大学ビジネス開発研究所

白鷗大学ビジネス開発研究所では、小山市産業観光部商業観光課からの委託を受けて小山市の消費面を中心とした経済動向を把握するため、平成14年度以降小山市経済動向実態調査を実施している。令和元年度小山市経済動向実態調査では、小山市景気動向アンケート調査2回（6月と12月）とヒアリング調査（2月）を行った。本報告書は令和元年度小山市景気動向アンケート調査（第2回）の調査結果とヒアリング調査結果をまとめた小山市経済動向実態調査（令和元年度）最終報告書である。

要旨

令和元年12月に実施した「小山市景気動向アンケート調査（令和元年度第2回）」の結果をみると、令和元年下半期（元年7～12月期）の小山市の景気の実状（水準）をきいた質問の回答では、「やや悪い」「悪い」が増加し、「どちらともいえない」が減少したことなどから、D I 値¹では38.5%と前回調査（令和元年6月、以下同じ）の44.5%からさらに低下し、2期連続で50%未満となった。「やや悪い」という回答の理由としては、「客数の減少。消費税増税の影響あり」、「買い控えがうかがえる」などがあがっている。また、回答割合の高い「どちらともいえない」という回答の理由としては、「消費税アップの影響はあるものの、大幅減にはなっていない」、「消費税10%も定着している」などがあがっている。小山市の景気の先行き（2年1～6月の見通し）については、前回調査に比べると、「やや良くなる」が増加し、「やや悪くなる」が減少したことなどからD I 値では47.6%と前回（45.6%）からやや上昇したが、50%未満となった。回答の理由としては、「やや良くなる」と回答した企業では、「小山駅周辺に新しい建物ができたから」、「東京オリンピックに向けての期待」などが、「変わらない」と回答した企業では、「5%還元が続くので」、「プラス要因が見当たらない」などがあがっている。一方、「やや悪くなる」と回答した理由では「米中貿易摩擦の影響」「先がみえない」などがあがっている。自己の企業や業界の売上金額の増減

¹ 回答（%）の「良い」を1、「やや良い」を0.75、「どちらともいえない」を0.5、「やや悪い」を0.25、「悪い」を0として、構成比で加重平均したもの。

についての回答をみると、令和元年下半期（7～12月期）は令和元年上半期（1～6月期）に比べ「やや減少した」が増加し、「増加した」「変わらない」が減少したことなどから、D I 値は 40.3%と低下し、2期連続で50%を下回った。「やや減少した」理由としては、「来客数が減少している」（小売業）、「住宅展示場の来場者が減少している」（不動産・住宅業）などがあがっている。先行き（来半期）の売上高見通しのD I 値は 48.7%と前回（46.8%）からやや上昇したが、50%を下回った。

令和2年上半期（1～6月期）の業界の販売価格の見通しについては、令和元年下半期（7～12月期）に比べて、「変わらない」が増加し、「やや低下する」が減少したことなどから、D I 値では 50.3%と前回（49.5%）からいくぶん上昇し、4期ぶりに50%を超えた。令和2年上半期（1～6月期）の雇用見通しについては、令和元年下半期（7～12月期）に比べて、「不足する」が増加し、「横ばい」が減少したことなどからD I 値は 59.4%と前回（57.3%）から上昇した。なお、資金繰りの状況については、今回調査ではD I 値は 47.0%と前回（52.2%）から低下し、50%を下回った。また、令和元年度の賃金等の状況をみると、前回調査（平成30年度賃金）と比べて「ボーナスの実施」「定期昇給の実施」「ボーナスの増額」などが増加し、「定期給与・ボーナス等の変更なし」などは減少した。

今回のアンケート調査で追加質問した「消費税率引上げと軽減税率の導入の影響」に関する質問については、「ほとんど影響なし」（58.8%）が6割弱であるが、「ややマイナスの影響」（23.5%）、「かなりマイナスの影響」（7.8%）も合わせて31.3%となっており、「駆け込み需要等でややプラスの影響」は7.8%であった。令和元年秋の台風等による事業活動への影響については、「ほとんど事業に影響はなかった」が半数弱（49%）を占めたものの、「少し被害を被った」（17.6%）「直接的な被害はなかったがかなり事業に影響があった」（11.8%）「少し事業に影響があった」（11.8%）「大きな被害を被った」（2.0%）とマイナスの影響も合わせて43%になっている。

令和2年2月に開催したヒアリング調査の結果をみると、景気については、製造業を中心に中国向けの輸出が、米中貿易摩擦の影響を受けた中国経済の減速でブレーキがかかり、さらに新型コロナウイルスの拡大が追い打ちをかけている。消費税率引上げ、軽減税率導入については前回に比べて落ち込みは小さく、混乱もなかった、とのことであった。先行きについては、新型コロナウイルスの拡大がいつ終息するかが最大の関心事となっており、オリンピック・パラリンピックの影響について小山市は観光資源も少ないことから、あまり影響がないとの声が多かった。働き方改革については、人手不足もあって各社、各業界とも工夫しながら有給休暇の消化や残業削減の促進、正規・非正規の不合理な格差解消

などに取り組んでいる、とのことであった。

以上のように、令和元年度第 2 回小山市景気動向アンケート調査結果から令和元年下半期（7～12 月期）の小山市の景況感をみると、現状は前回調査から悪化し、D I 値で 50%を 2 期連続で下回った。この背景としては、令和元年 10 月に実施された消費税率引上げの影響とともに、製造業を中心に米中貿易摩擦の影響があるとみられる。先行きについては、12 月のアンケート調査では D I 値で見るとわずかながら上昇したものの、50%を下回った。その後、新型コロナウイルス拡大でその影響が経済面でも広がることが予想され、新型コロナウイルス流行の終息が遅れば、小山市においても製造業や観光・イベント関連を中心に景気が一層落ち込むことが懸念される。

I. 小山市景気動向アンケート調査結果（令和元年度第2回）

1. 調査の目的

小山市景気動向アンケート調査は、小山市の景気動向を把握するため、小山市の流通業、サービス業、製造業などの企業、店舗に対して小山市の景況、各業界の業況等をアンケート形式で調査したものである。

2. 調査対象・調査内容

2-1) 調査対象

令和元年12月に小山市内の企業² 120社程度を対象に小山市の景気動向に関するアンケート調査を行い、51社から回答を得た。回収率は約43%である。

（回答企業の業種別構成）

（図表1） 回答企業の業種別構成（ ）内は前回（令和元年6月）調査

| 業種 | 社数 | 業種 | 社数 |
|-----------|----------|---------|----------|
| 流通業（小売業等） | 13社（14社） | 通信・放送業 | 2社（1社） |
| 製造業 | 9社（10社） | 不動産・住宅業 | 3社（2社） |
| 金融・保険業 | 2社（2社） | サービス業 | 12社（9社） |
| 運輸業 | 3社（3社） | 印刷業 | 1社（1社） |
| ホテル・旅行業 | 1社（1社） | 不明 | 5社（2社） |
| 飲食業 | 1社（1社） | | |
| | | 合計 | 51社（46社） |

前回調査（令和元年6月）に比べ、

増加した業種：サービス業、不動産・住宅業、通信・放送業、不明

減少した業種：製造業、流通業（小売業等）

² これまで調査に回答していただいた企業を中心に製造業を含め120社程度を対象。

(回答企業の従業員規模別の構成)

(図表 2) 回答企業の従業員数

| 従業員数 (人) | 企業数 (社) | 構成比 (%) |
|----------|---------|---------------|
| 1～4 | 6 | 12 (22、22) |
| 5～9 | 8 | 16 (9、9) |
| 10～19 | 4 | 8 (7、16) |
| 20～29 | 3 | 6 (9、4) |
| 30～49 | 2 | 4 (7、7) |
| 50～99 | 14 | 28 (26、22) |
| 100 以上 | 8 | 16 (17、18) |
| 不明 | 1 | 10 (4、2) |
| 計 | 51 | 100 (100、100) |

(注) 構成比の () 内は左が前回調査 (令和元年 6 月)、右が前々回調査 (平成 30 年 12 月) の構成比。(四捨五入の関係で合計しても 100 にならないことがある。)

前回調査 (令和元年 6 月) に比べ、

構成比が 2%ポイント以上上昇した従業員規模：5～9 人、50～99 人、不明

構成比が 2%ポイント以上減少した従業員規模：1～4 人、20～29 人、30～49 人

(回答企業の年間売上高規模別の構成)

(図表 3) 回答企業の売上高

| 売上高 (円) | 企業数 (社) | 構成比 (%) |
|---------------|---------|---------------|
| 3,000 万未満 | 6 | 12 (11、18) |
| 3,000 万～1 億未満 | 2 | 4 (9、11) |
| 1 億～5 億未満 | 13 | 26 (20、24) |
| 5 億～10 億未満 | 8 | 16 (11、9) |
| 10 億以上 | 9 | 18 (26、18) |
| 不明 | 13 | 26 (24、20) |
| 計 | 51 | 100 (100、100) |

(注) 構成比の () 内は左が前回調査 (令和元年 6 月)、右が前々回調査 (平成 30 年 12 月) の構成比。(四捨五入の関係で合計しても 100 にならないことがある。)

前回調査 (令和元年 6 月) に比べ、

構成比が 2%ポイント以上上昇した年間売上高規模：

1 億～5 億未満、5～10 億未満、不明

構成比が 2%ポイント以上低下した年間売上高規模：

3,000 万～1 億未満、10 億以上

(回答企業の小山市内における売上割合)

(図表 4) 回答企業の小山市内における売上割合

| 小山市内の売上割合 (%) | 企業数 (社) | 構成比 (%) |
|---------------|---------|---------------|
| 80～100 | 11 | 22 (30、27) |
| 60～80 | 11 | 22 (24、24) |
| 40～60 | 4 | 8 (11、18) |
| 20～40 | 9 | 18 (9、9) |
| 0～20 | 10 | 20 (17、16) |
| 不明 | 6 | 12 (9、7) |
| 計 | 51 | 100 (100、100) |

(注) 構成比の () 内は左が前回調査 (令和元年6月)、右が前々回調査 (平成30年12月) の構成比。(四捨五入の関係で合計が100にならないことがある。)

小山市内の売上割合が60%以上の計: 22社 (43%) (前回調査: 54%)

2-2) 調査内容

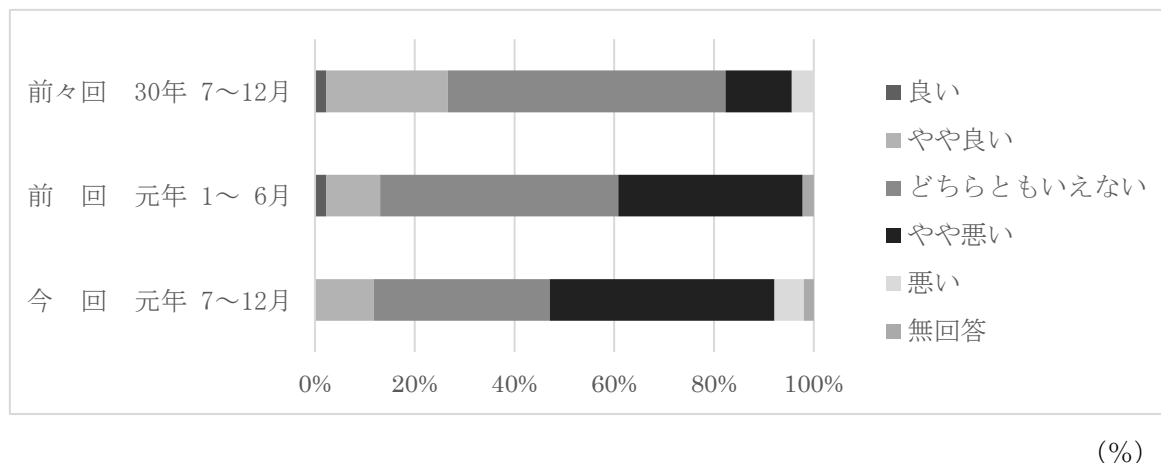
今回の調査項目は、景況感に関わる従来からの質問項目および令和元年度の主な従業員の賃金等の状況に関する質問項目に加え、消費税率引上げと軽減税率導入に関する質問事項等からなっている。

- 質問1 小山市の景気の現状(水準)
- 質問2 質問1の回答理由
- 質問3 小山市の景気の先行き見通し
- 質問4 質問3の回答理由
- 質問5 業界の売上金額の変化
- 質問6 質問5の回答理由
- 質問7 業界の売上高見通し
- 質問8 質問7の回答理由
- 質問9 業界の販売価格見通し
- 質問10 業界の雇用状況の見通し
- 質問11 資金繰りの状況
- 質問12 質問11の回答理由
- 質問13 令和元年度の主な従業員の賃金等の状況
- 質問14 質問13の回答理由
- 質問15 消費税率引上げと軽減税率導入の影響
- 質問16 質問15の回答理由
- 質問17 消費税率引上げ分の価格転嫁状況
- 質問18 令和元年秋の台風等による被害状況

3. 調査結果

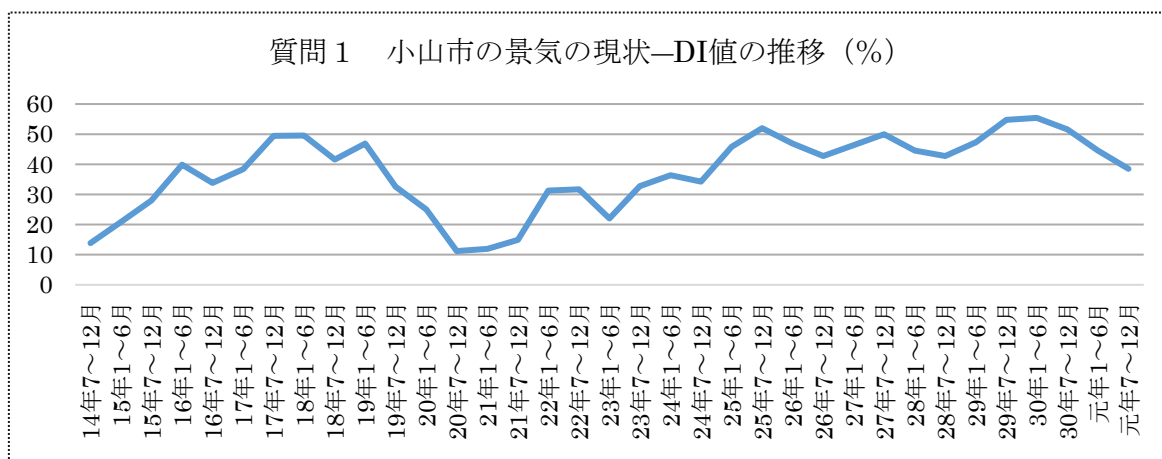
3-1) 全般的な小山市の景気

(図表 5) 質問 1 小山市の景気の現状(水準)



| | 良い | やや良い | どちらとも いえない | やや悪い | 悪い | 無回答 | DI値 |
|---------------|-----|------|---------------|------|-----|-----|------|
| 前々回 30年 7～12月 | 2.2 | 24.4 | 55.6 | 13.3 | 4.4 | 0 | 51.6 |
| 前回 元年 1～6月 | 2.2 | 10.9 | 47.8 | 37.0 | 0 | 2.2 | 44.5 |
| 今回 元年 7～12月 | 0 | 11.8 | 35.3 | 45.1 | 5.9 | 2.0 | 38.5 |

(注) DI値は回答 (%) の「良い」を1、「やや良い」を0.75、「どちらともいえない」を0.5、「やや悪い」を0.25、「悪い」を0として、構成比（無回答を除く）で加重平均したもの。以下の質問でも同じ。



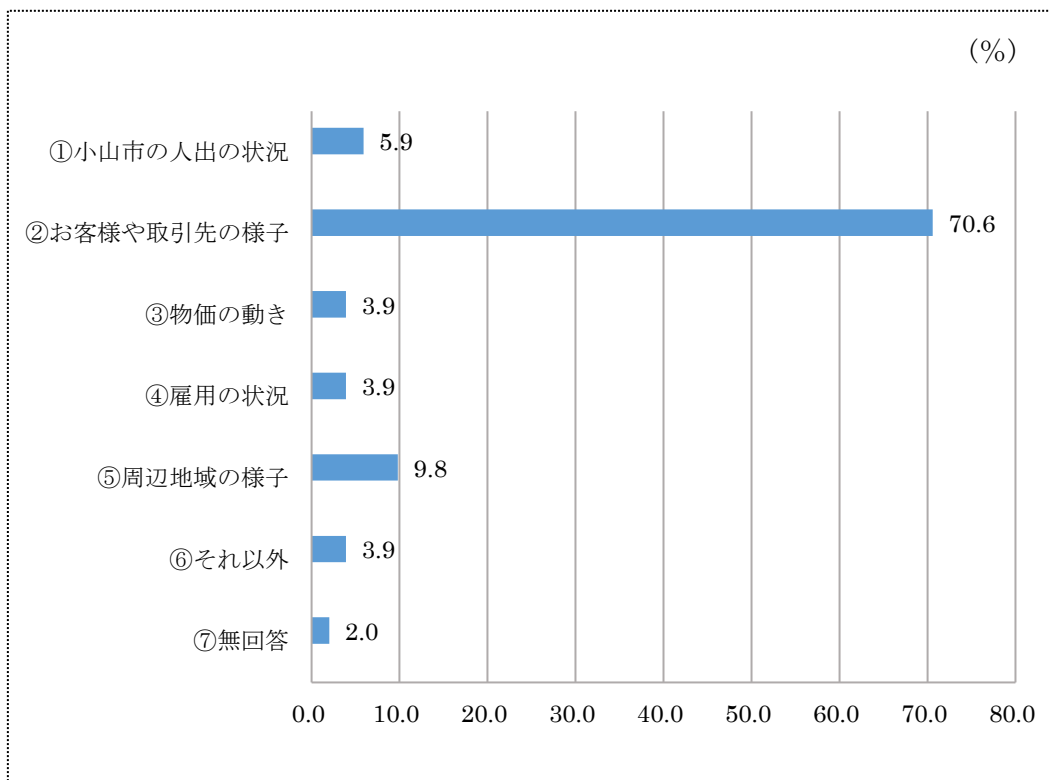
前回調査(令和元年6月)に比べ、

3%ポイント以上増加：「やや悪い」(+8.1)、「悪い」(+5.9)

3%ポイント以上減少：「どちらともいえない」(-12.5)

DI値：38.5 (-6.0) に低下 (2期連続で50%未満)

(図表 6) 質問 2-1 質問 1 の回答の判断理由 (%)



(注) 集計 51 社に対する比率。

| | | (%) | | | | | | |
|-----------|------|----------------|-----------------|------------|------------|--------------|-----------|-----|
| 質問 2-1 | 質問 1 | ①小山市の 人出の状況 | ②お客様や 取引先の様子 | ③物価の 動き | ④雇用の 状況 | ⑤周辺地域 の様子 | ⑥それ 以外 | 無回答 |
| 良い | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| やや良い | | 2.0 | 3.9 | 2.0 | 3.9 | 2.0 | 0 | 0 |
| どちらともいえない | | 3.9 | 25.5 | 2 | 0 | 5.9 | 0 | 0 |
| やや悪い | | 0 | 37.3 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 |
| 悪い | | 0 | 3.9 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 無回答 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2.0 |
| 計 | | 5.9 | 70.6 | 3.9 | 3.9 | 9.8 | 3.9 | 2.0 |

質問 2-2

質問 2-1 の具体的な回答内容

「やや悪い」:

- ・「客数の減少。消費税増税の影響あり」(お客様や取引先の様子)
- ・「買い控えが窺える」(お客様や取引先の様子)

など

「どちらともいえない」:

- ・「消費税アップの影響はあるものの、大幅減とはなっていない模様」(お客様や取引先の様子)
- ・「消費税 10%も定着している」(お客様や取引先の様子)

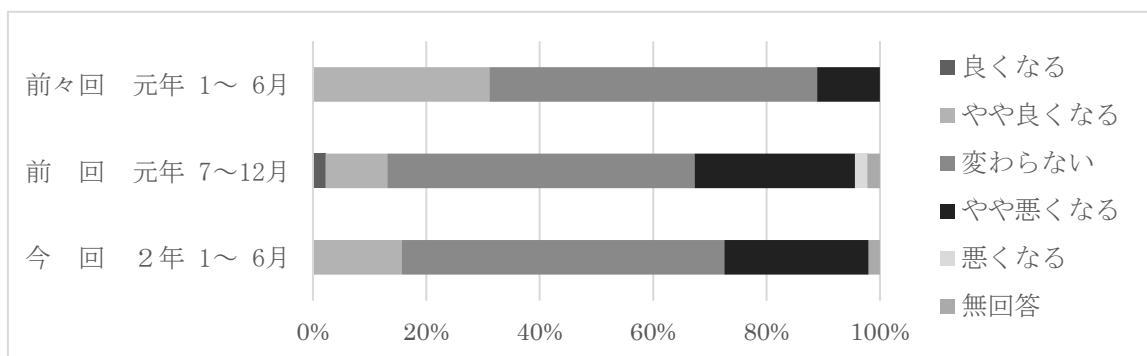
など

「やや良い」:

- ・「人材が集まらないので仕事が多くあるとみられる」(雇用の状況)
- ・「取引先での突発での修理案件(大規模)の発生で長期間に及ぶ」(お客様や取引先の状況)

など

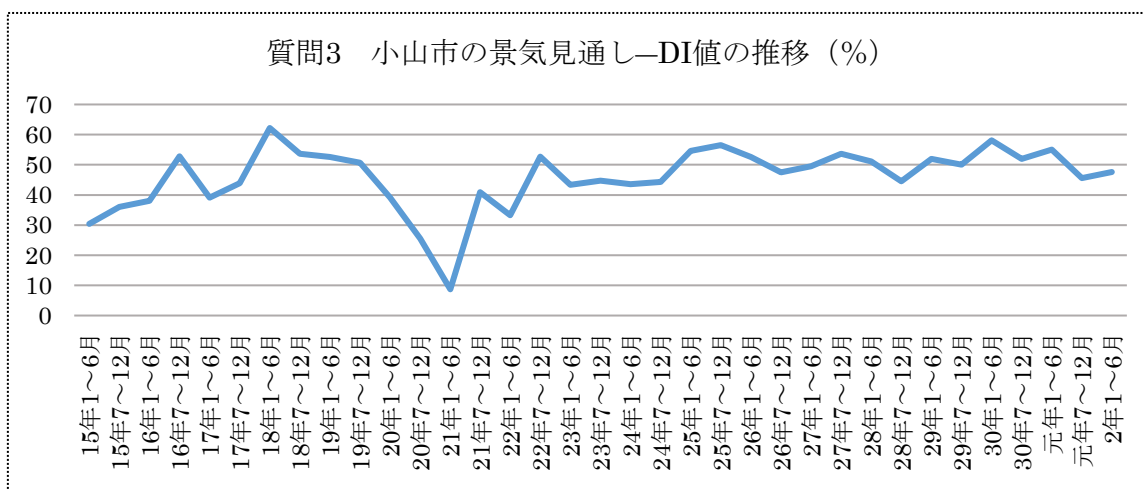
(図表7) 質問3 令和2年上半期(1~6月期)の小山市の景気見通し



(%)

| 見通しの対象時期 | 良くなる | やや良くなる | 変わらない | やや悪くなる | 悪くなる | 無回答 | DI値 |
|------------|------|--------|-------|--------|------|-----|------|
| 前々回 元年1~6月 | 0 | 31.1 | 57.8 | 11.1 | 0 | 0 | 55.0 |
| 前回 元年7~12月 | 2.2 | 10.9 | 54.3 | 28.3 | 2.2 | 2.2 | 45.6 |
| 今回 2年1~6月 | 0 | 15.7 | 56.9 | 25.5 | 0 | 2.0 | 47.6 |

(注) 年月は見通し対象時期。



前回調査(令和元年6月)に比べ、

3%ポイント以上増加: 「やや良くなる」(+4.8)

3%ポイント以上減少: なし

DI値: 47.6 (+2.0) に上昇(2期連続で50%未満)

質問4 質問3（小山市の景気の先行き見通し）の回答理由

「やや良くなる」：

- ・「小山駅周辺に新しい建物ができたから」
- ・「東京オリンピックに向けての期待」

など

「変わらない」：

- ・「5%還元が続くので」
- ・「プラス要因が見当たらない」

など

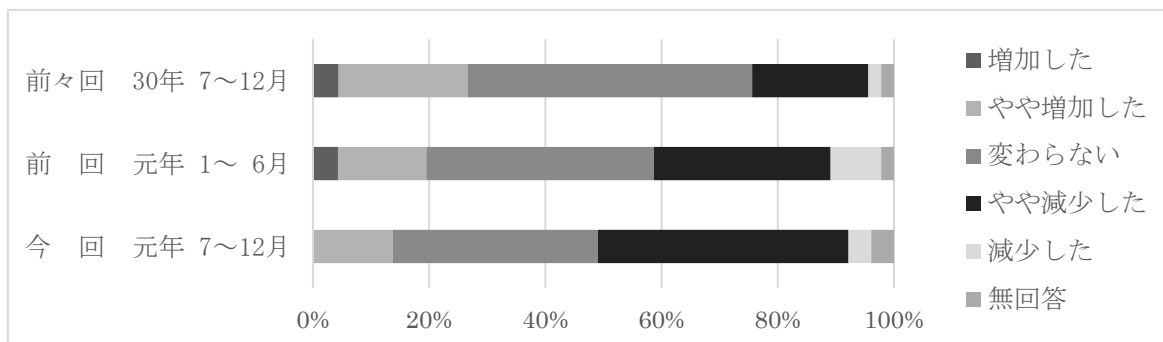
「やや悪くなる」：

- ・「米中貿易摩擦の影響」
- ・「先が見えない」

など

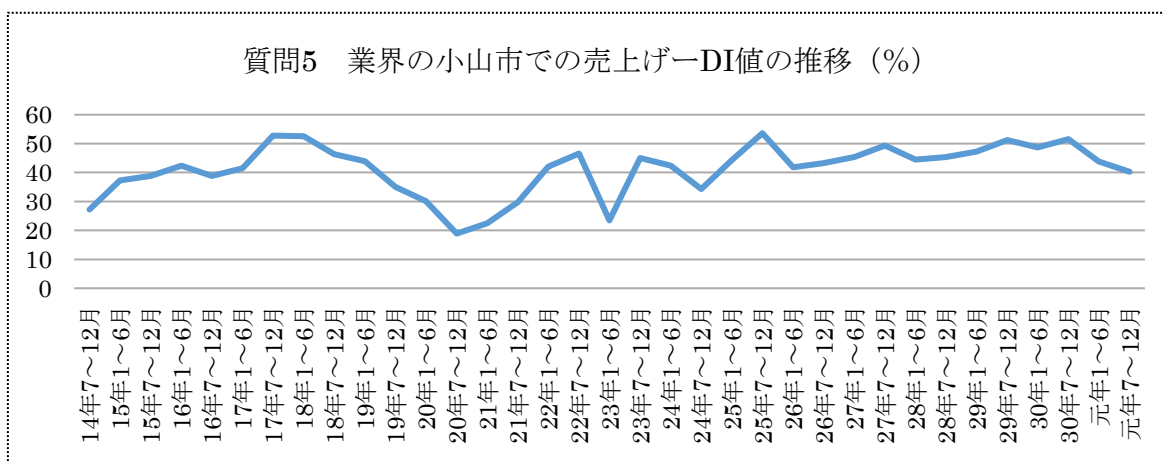
3-2) 小山市における業界の景気

(図表 8) 質問 5 業界の小山市での売上げ (売上金額の増減)



(%)

| | 増加した | やや増加した | 変わらない | やや減少した | 減少した | 無回答 | DI値 |
|---------------|------|--------|-------|--------|------|-----|------|
| 前々回 30年 7～12月 | 4.4 | 22.2 | 48.9 | 20.0 | 2.2 | 2.2 | 51.6 |
| 前回 元年 1～6月 | 4.3 | 15.2 | 39.1 | 30.4 | 8.7 | 2.2 | 43.8 |
| 今回 元年 7～12月 | 0 | 13.7 | 35.3 | 43.1 | 3.9 | 3.9 | 40.3 |



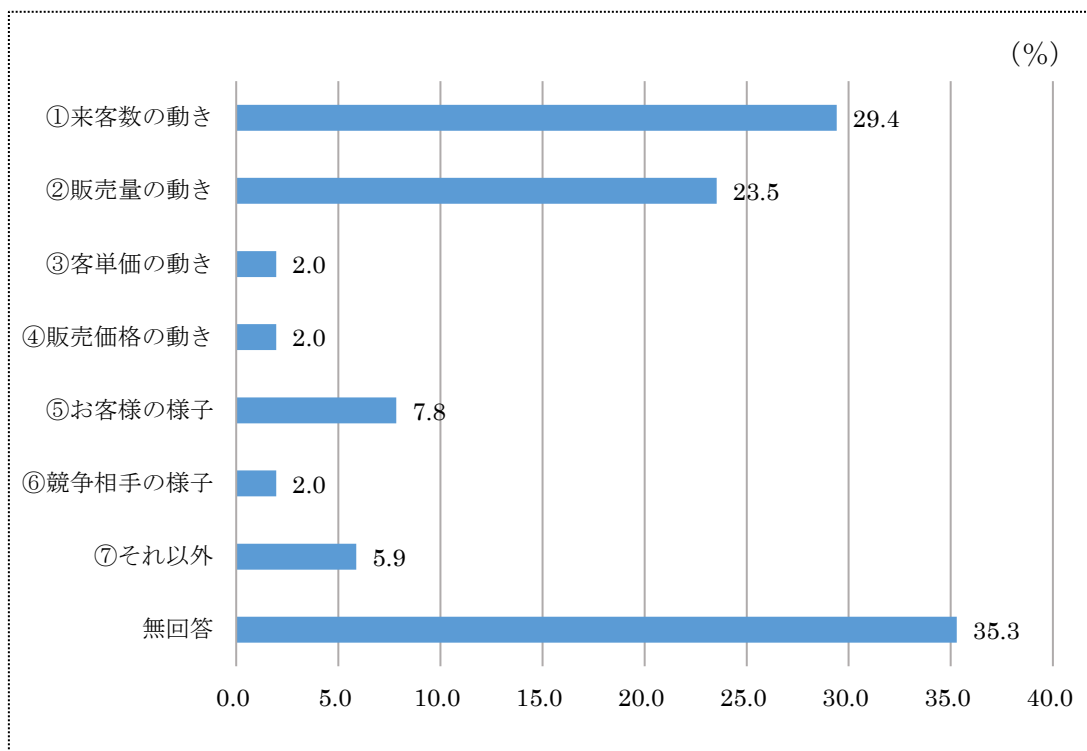
前回調査(令和元年6月)に比べ、

3%ポイント以上増加：「やや減少した」(+12.7)、

3%ポイント以上減少：「減少した」(-4.8)、「増加した」(-4.3)、
「変わらない」(-3.8)

DI値：40.3 (-3.5) に低下 (2期連続で50%未満)

(図表 9) 質問 6-1 質問 5 の回答理由 (家計消費向け取引)



(%)

| 質問 6-1 質問 5 | 来客数 の動き | 販売量 の動き | 客単価 の動き | 販売価格 の動き | お客様 の様子 | 競争相手 の様子 | それ以外 | 無回答 *1 |
|----------------|------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|------|-----------|
| 増加した | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| やや増加した | 0.0 | 3.9 | 0.0 | 2.0 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | 5.9 |
| 変わらない | 15.7 | 9.8 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 11.8 |
| やや減少した | 13.7 | 9.8 | 2.0 | 0.0 | 3.9 | 2.0 | 2.0 | 11.8 |
| 減少した | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.9 |
| 無回答 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 2.0 |
| 計 | 29.4 | 23.5 | 2.0 | 2.0 | 7.8 | 2.0 | 5.9 | 35.3 |

(注) *1・・・無回答には家計向け売上のない企業(店舗)を含む。

51社に対する比率。複数回答があり、合計は100%にならない。

質問 6-2 具体的な回答 (家計消費向け取引)

「やや増加した」:「事業拡張による顧客増加で売上増加」(通信・放送業)

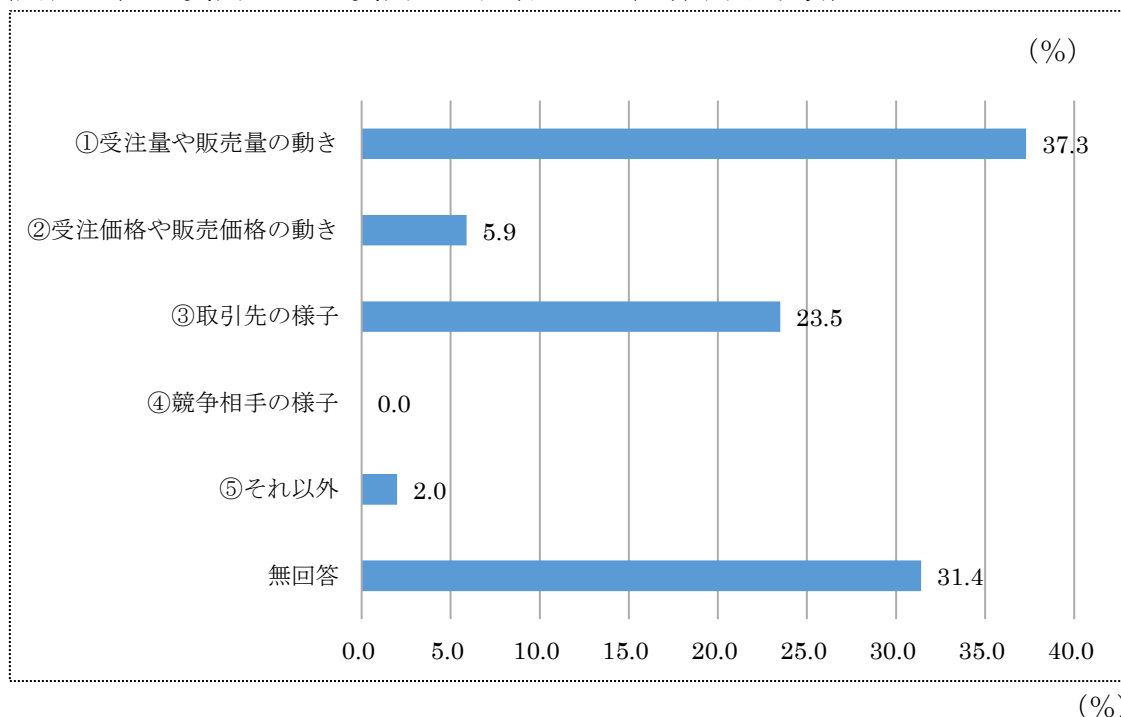
「変わらない」:「来客数はほぼ変化していない」(個人向けサービス)

「消費増税の影響を心配したが、販売量に大きな変化はない」
(製造業)

「やや減少した」:「来客数が減少している」(小売業)、

「住宅展示場の来場数が減少している」(不動産・住宅業)など

(図表 10) 質問 6-1 質問 5 の回答理由 (企業向け取引)



| 質問 6-1 質問 5 | 受注量や 販売量の動き | 受注価格や 販売価格の動き | 取引先の 様子 | 競争相手 の様子 | それ以外 | 無回答 *1 |
|----------------|----------------|------------------|------------|-------------|------|-----------|
| 増加した | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| やや増加した | 5.9 | 0.0 | 3.9 | 0.0 | 0.0 | 3.9 |
| 変わらない | 9.8 | 2.0 | 9.8 | 0.0 | 0.0 | 13.7 |
| やや減少した | 17.6 | 3.9 | 9.8 | 0.0 | 0.0 | 11.8 |
| 減少した | 3.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 無回答 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 2.0 |
| 計 | 37.3 | 5.9 | 23.5 | 0.0 | 2.0 | 31.4 |

(注) *1・・・無回答は企業向け取引のない企業(店舗)を含む。

集計 51 社に対する比率。四捨五入の関係で合計は 100%にならない。

質問 6-2 具体的な回答 (企業向け取引)

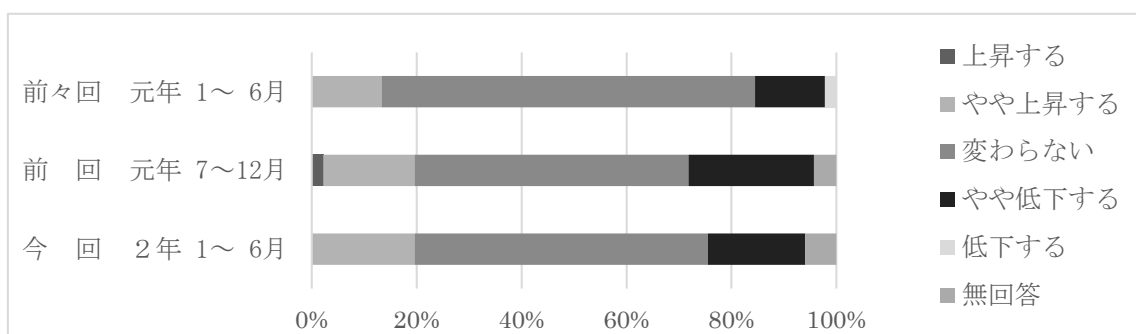
「やや減少した」:「単純に受注量が減っている」(運輸業)

「台風の影響がでている」(小売業)

「変わらない」:「大きな変化なし」(サービス業)

「やや増加した」:「上半期の売上減を取り戻すため、製造量を増加させた」
(小売業) など

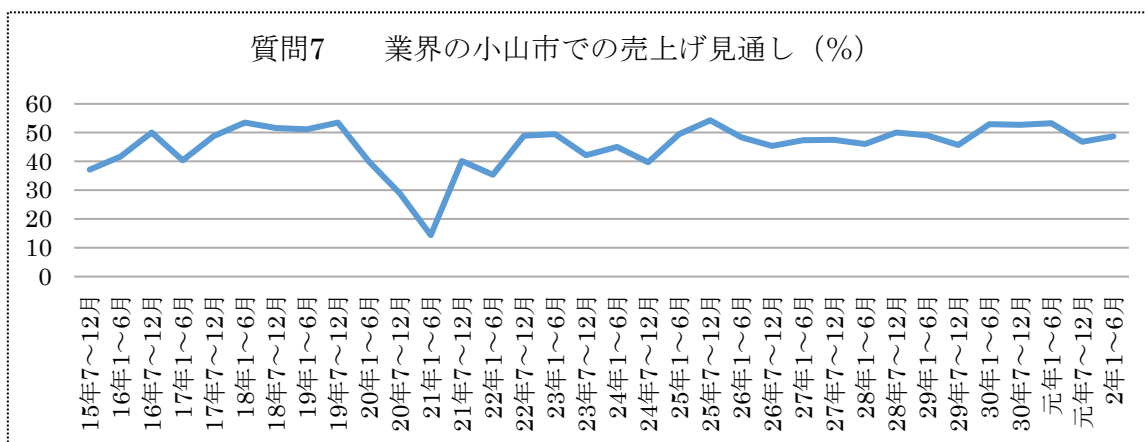
(図表 11) 質問7 業界の小山市での売上高見通し



(%)

| 見通し対象時期 | 増加する | やや増加する | 変わらない | やや減少する | 減少する | 無回答 | DI値 |
|-------------|------|--------|-------|--------|------|-----|------|
| 前々回 元年 1～6月 | 2.2 | 24.4 | 57.8 | 15.6 | 0 | 0 | 53.3 |
| 前回 元年 7～12月 | 2.2 | 21.7 | 38.0 | 29.3 | 4.3 | 4.3 | 46.8 |
| 今回 2年 1～6月 | 0 | 13.7 | 61.8 | 18.6 | 0 | 5.9 | 48.7 |

(注) 年月は見通し対象時期。



前回調査(平成30年12月)に比べ、

3%ポイント以上増加: 「変わらない」(+23.8)

3%ポイント以上減少: 「やや減少する」(-10.7)、「やや増加する」(-8.0)

「減少する」(-4.3)

DI値: 48.7 (+1.9) に上昇 (2期連続で50%未満)

質問 8 質問 7 の回答理由 (自由記入)

「やや増加する」:

- ・「不動産の仕入れがわずかだが、できた」(不動産・住宅業)
- ・「台風被害が復旧するため」(ホテル・旅行業)

など

「変わらない」:

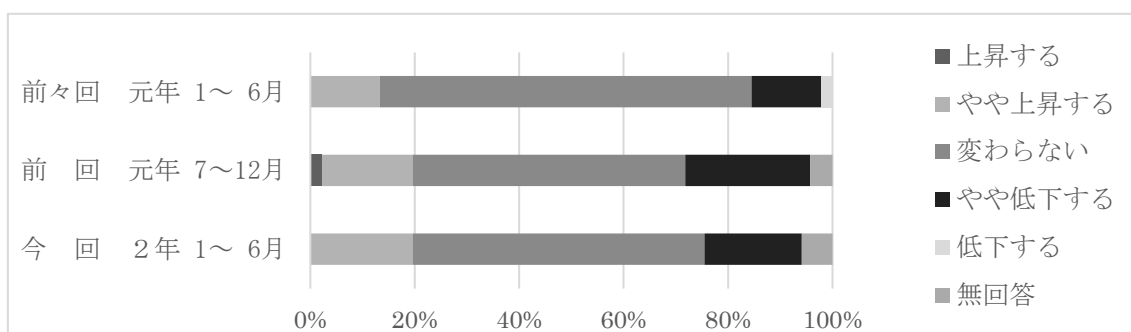
- ・「オリンピック年だがあまり期待できない」(サービス業)
- ・「現在の受注状況による」(製造業)

など

「やや減少する」:

- ・「営業に出る人を減少させる方向である」(運輸業)
- ・「特別な増加要因がなく、増税の影響も懸念される」(製造業)

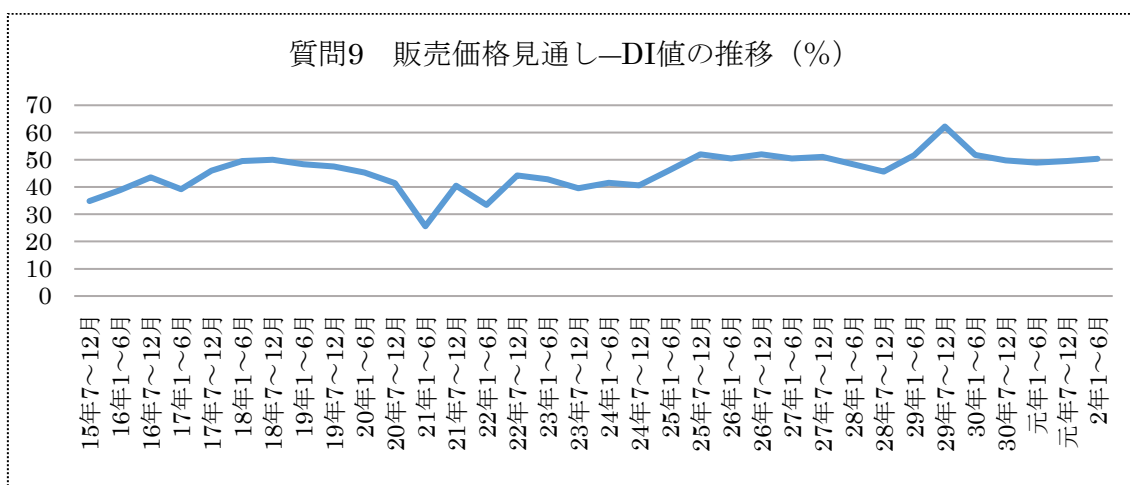
(図表 12) 質問9 令和2年上半期(1~6月期)の販売価格見通し



(%)

| 見通し対象時期 | 上昇する | やや上昇する | 変わらない | やや低下する | 低下する | 無回答 | DI値 |
|-------------|------|--------|-------|--------|------|-----|------|
| 前々回 元年 1~6月 | 0 | 13.3 | 71.1 | 13.3 | 2.2 | 0 | 48.9 |
| 前回 元年 7~12月 | 2.2 | 17.4 | 52.2 | 23.9 | 0 | 4.3 | 49.5 |
| 今回 2年 1~6月 | 0 | 19.6 | 55.9 | 18.6 | 0 | 5.9 | 50.3 |

(注) 初回はこの見通し調査を行っていない。年月は見通し対象時期。



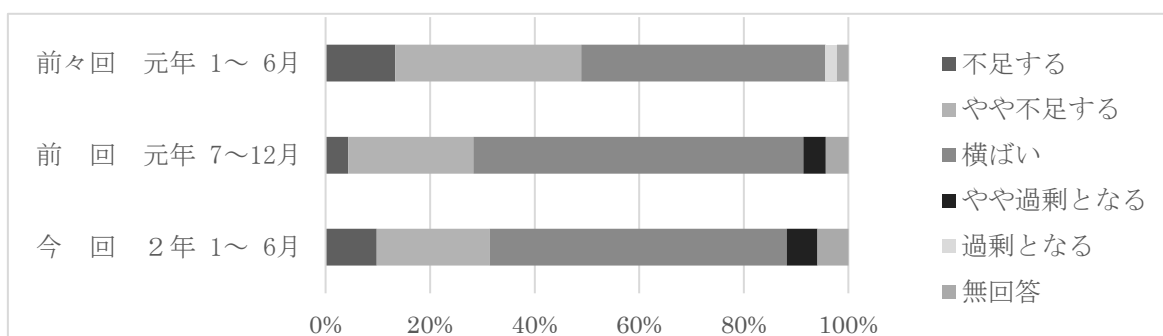
前回調査(令和元年6月)に比べ、

3%ポイント以上増加:「変わらない」(+3.7)

3%ポイント以上減少:「やや低下する」(-5.3)

DI値: 50.3 (+0.6) (4期ぶりに50%超)

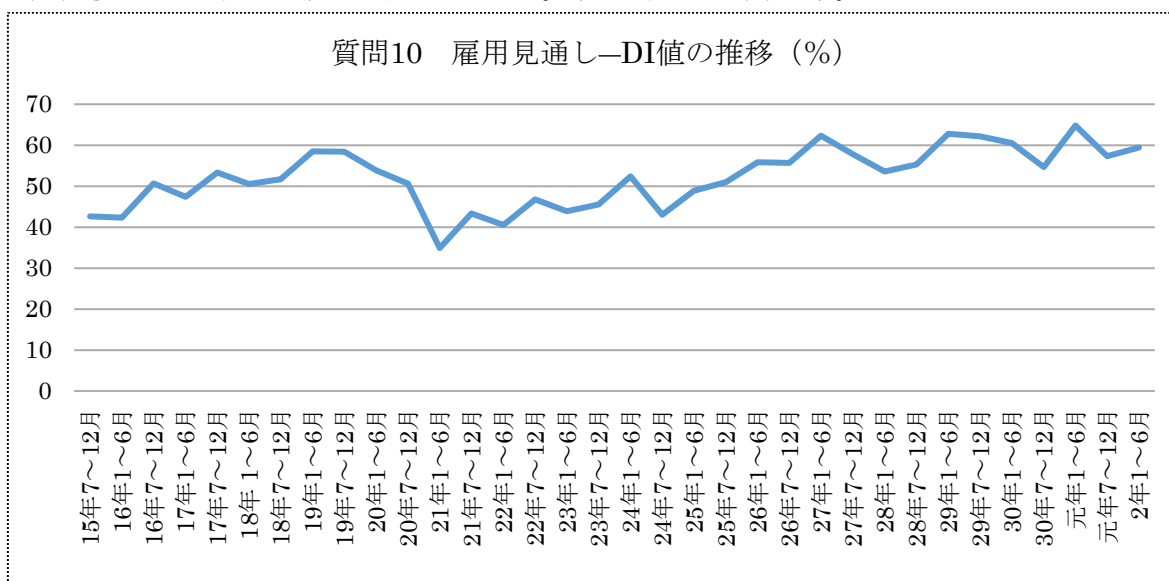
(図表 13) 質問 10 令和 2 年上半期 (1~6 月期) の雇用見通し



(%)

| | 不足 | やや不足 する | 横ばい | やや過剰 となる | 過剰 となる | 無回答 | DI値 |
|--------------|------|------------|------|-------------|-----------|-----|------|
| 前々回 元年 1~6 月 | 13.3 | 35.6 | 46.7 | 0 | 2.2 | 2.2 | 64.8 |
| 前回 元年 7~12 月 | 4.3 | 23.9 | 63.0 | 4.3 | 0 | 4.3 | 57.3 |
| 今回 2 年 1~6 月 | 9.8 | 21.6 | 56.9 | 5.9 | 0 | 5.9 | 59.4 |

(注) 初回はこの見通し調査を行っていない。年月は見通し対象時期。



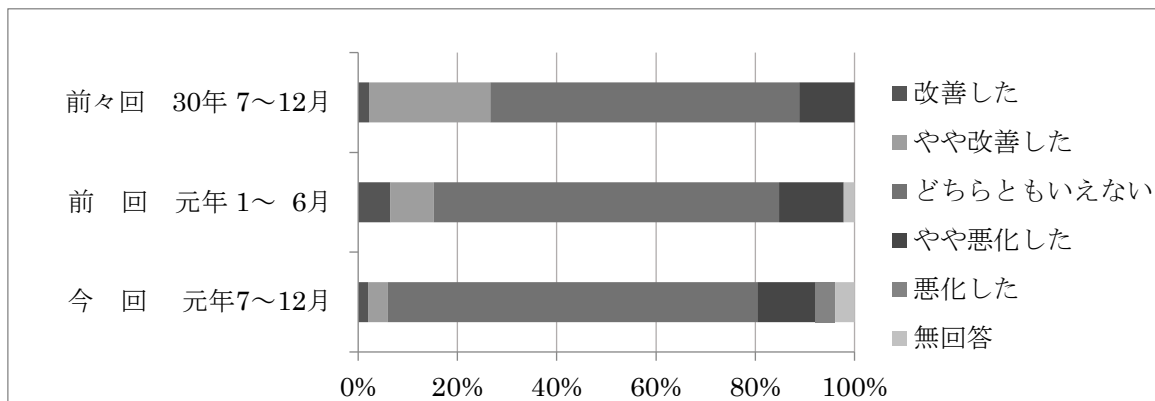
前回調査(令和元年 6 月)に比べ、

3%ポイント以上増加：「不足する」(+5.5)

3%ポイント以上減少：「横ばい」(-6.1)

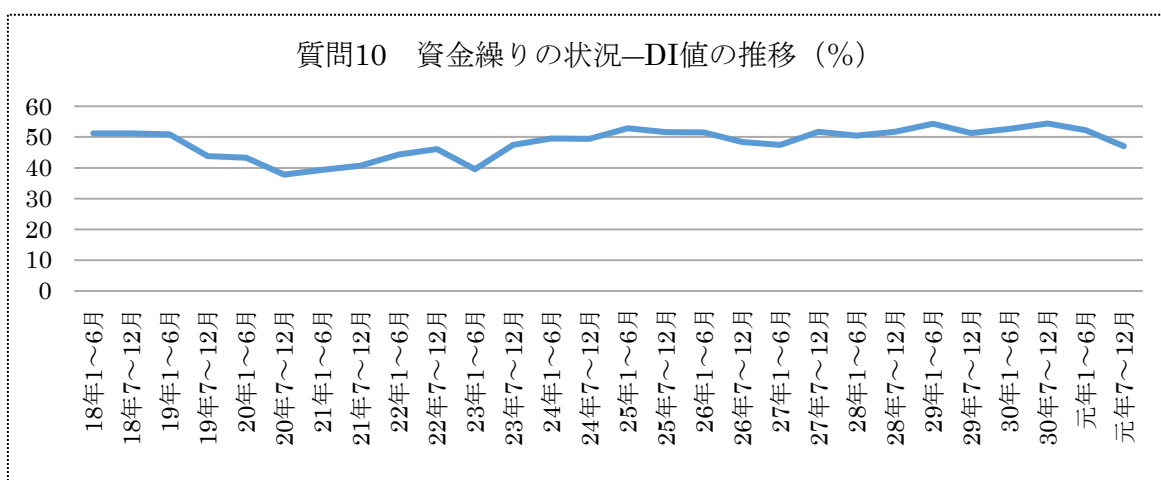
DI 値：59.4 (+2.1) (2 期ぶりに上昇)

(図表 14) 質問 11 令和元年下半期 (7~12 月期) 資金繰りの状況



(%)

| | 改善した | やや改善した | どちらともいえない | やや悪化した | 悪化した | 無回答 | DI値 |
|---------------|------|--------|-----------|--------|------|-----|------|
| 前々回 30年 7~12月 | 2.2 | 24.4 | 62.2 | 11.1 | 0 | 0 | 54.4 |
| 前回 元年 1~6月 | 6.5 | 8.7 | 69.6 | 13.0 | 0 | 2.2 | 52.2 |
| 今回 元年 7~12月 | 2.0 | 3.9 | 74.5 | 11.8 | 3.9 | 3.9 | 47.0 |



(注) この調査項目は第8回 (平成 18 年 6 月) から調査している。

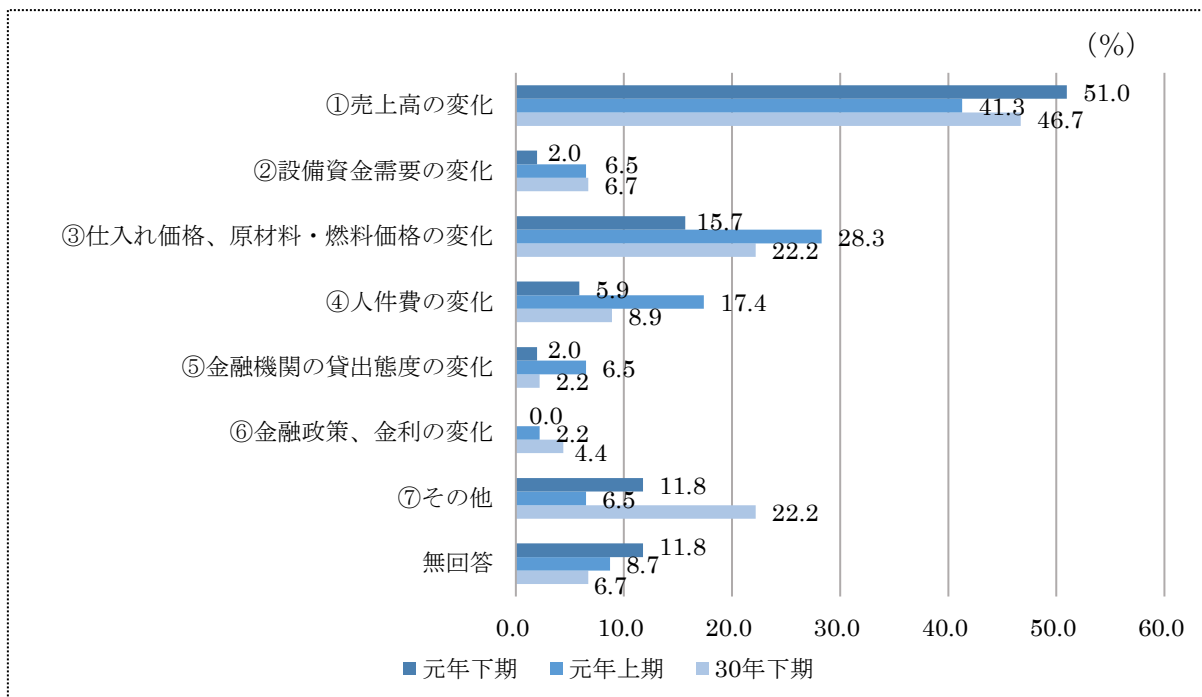
前回調査 (令和元年 6 月) に比べ、

3%ポイント以上増加 : 「どちらともいえない」 (+4.9)、「悪化した」 (+3.9)

3%ポイント以上減少 : 「やや改善した」 (-4.8)、「改善した」 (-4.5)

DI 値 : 47.0 (-5.2) (9 期ぶりに 50%未満)

(図表 15) 質問 12 質問 11 の回答理由



| 質問 12 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | 無回答 |
|-----------|------|-----|------|-----|-----|-----|------|------|
| 質問 11 | | | | | | | | |
| 改善した | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| やや改善した | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| どちらともいえない | 35.3 | 2.0 | 15.7 | 5.9 | 2.0 | 0.0 | 5.9 | 7.8 |
| やや悪化した | 9.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| 悪化した | 3.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 無回答 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.9 |
| 合計 | 51.0 | 2.0 | 15.7 | 5.9 | 2.0 | 0.0 | 11.8 | 11.8 |

(注) 回収 51 社に対する比率%。複数回答のため、合計は 100 にならない。

前回調査（令和元年 6 月）に比べ、

3%ポイント以上増加：①「売上高の変化」(+9.7)

⑦「その他」(+5.3)

無回答(+3.1)

3%ポイント以上減少：③「仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化」(-12.6)

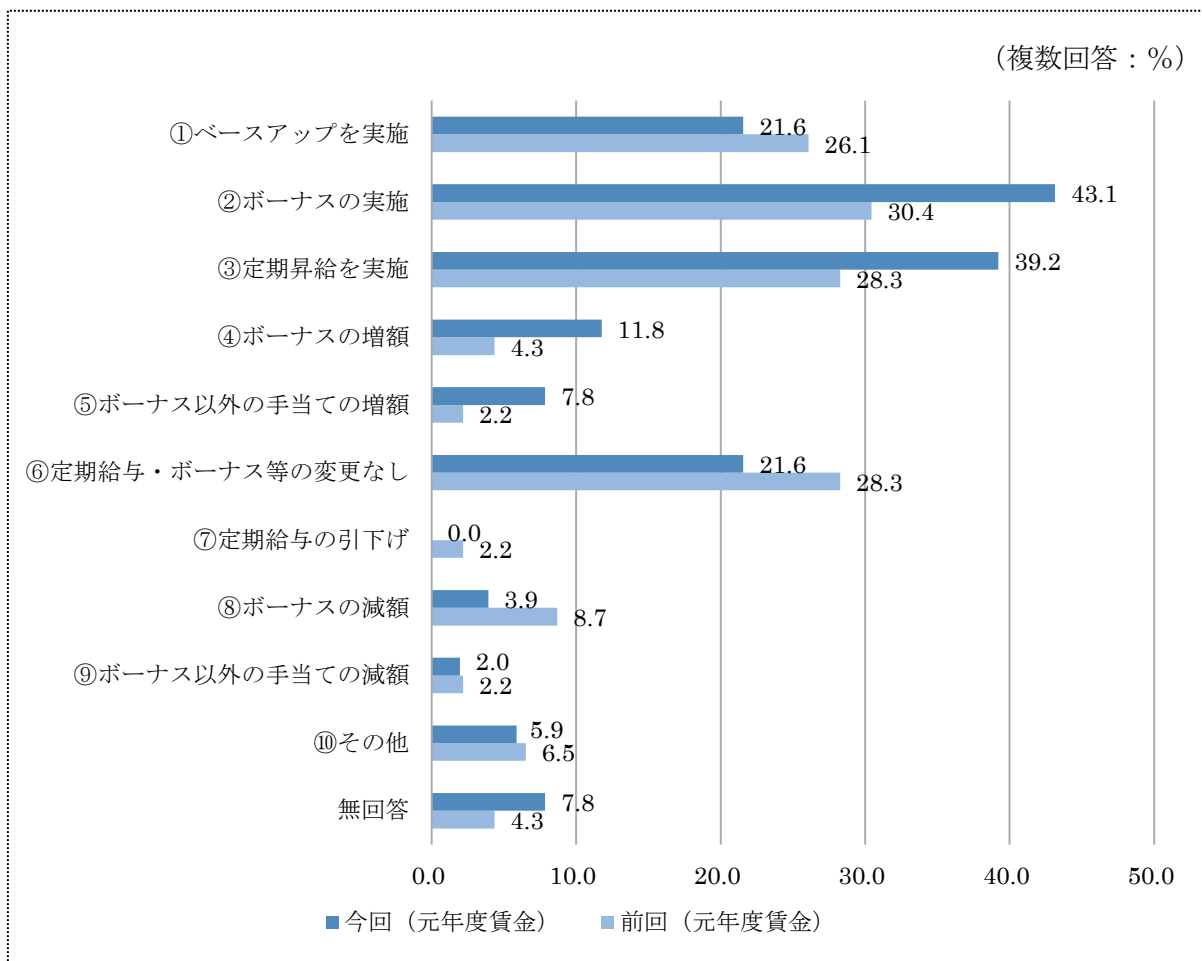
④「人件費の変化」(-11.5)

②「設備資金需要の変化」(-4.5)

⑤「金融機関の貸出態度の変化」(-4.5)

(注) ⑦「その他」の内容は、「借金が「0」になった」など

(図表 16) 質問 13 令和元年度賃金等の状況



(注) 回収企業計に対する比率%。複数回答可のため、合計は 100%にならない。

前回調査 (令和元年 6 月調査) との比較

(回答割合が 3%ポイント以上増加)

| | | |
|----------------|-------|---------|
| ②ボーナスの実施 | 43.1% | (+12.7) |
| ③定期昇給を実施 | 39.2% | (+10.9) |
| ④ボーナスの増額 | 11.8% | (+7.5) |
| ⑤ボーナス以外の手当ての増額 | 7.8% | (+5.6) |
| 無回答 | 7.8% | (+3.5) |

(回答割合が 3%ポイント以上減少)

| | | |
|------------------|-------|--------|
| ⑥定期給与・ボーナス等の変更なし | 21.6% | (-6.7) |
| ⑧ボーナスの減額 | 3.9% | (-4.8) |
| ①ベースアップの実施 | 21.6% | (-4.5) |

質問 14 質問 13（複数回答）の回答理由

「ベースアップを実施」、「ボーナスの実施」、「定期昇給の実施」、「ボーナスの増額」:

- ・「従業員のリテンションのため」
- ・「前年の実績により」

「ベースアップの実施」、「ボーナスの実施」、「定期昇給を実施」:

- ・「労働組合からの要求もあり、従業員のモチベーションアップのため実施」

「ベースアップを実施」、「ボーナスの実施」、「ボーナスの増額」:

- ・「人員確保として全体の賃金の底上げ、新規人材確保の条件として賃金アップ（社内の）」

「定期昇給を実施」、「ボーナスの増額」:

- ・「生産性の向上」

「ボーナスの実施」、「定期昇給の実施」、「ボーナスの減額」:

- ・「上期で定昇はできたが、冬のボーナスは大幅減額の予定である」

「ボーナスの実施」、「定期給与・ボーナス等の変更なし」:

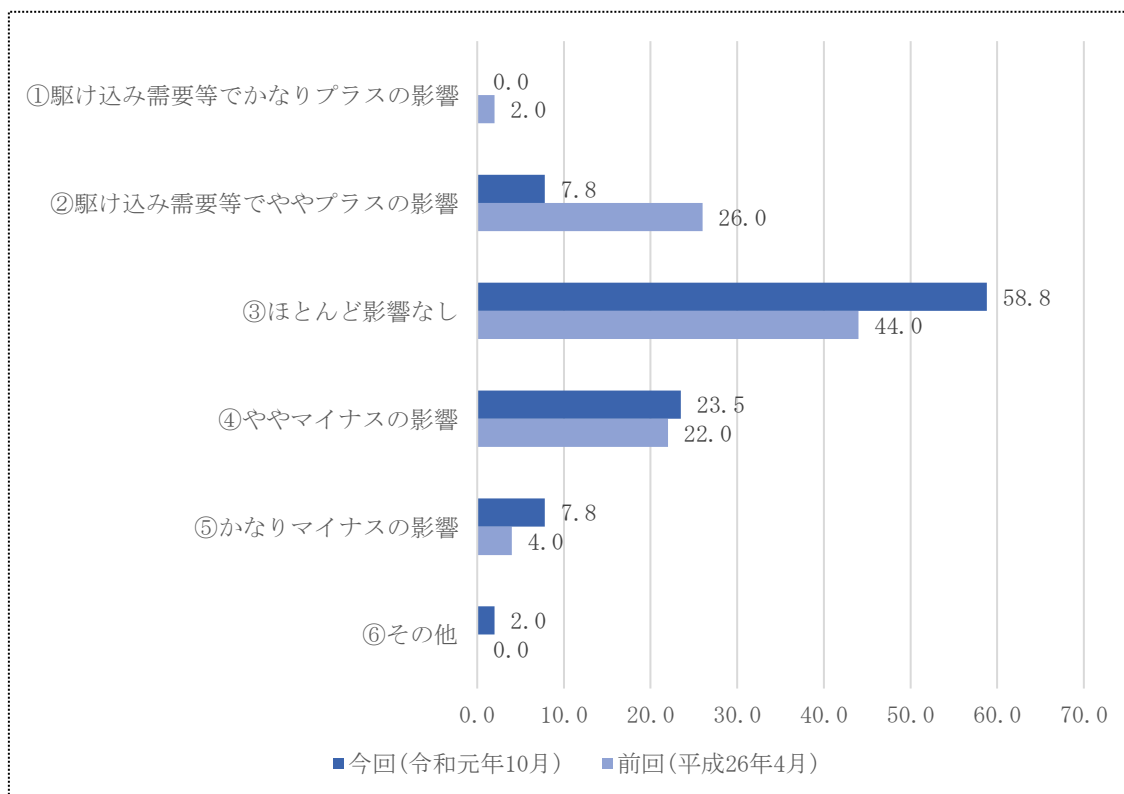
- ・「売上げが低迷しているので、昇給やボーナスの増額はできない」

「定期給与・ボーナス等変更なし」:

- ・「売上げが伸びていない」

など

(図表 17) 質問 15 消費税率引き上げと軽減税率導入の影響



前回の消費税率引き上げ時(平成 26 年 4 月)との比較

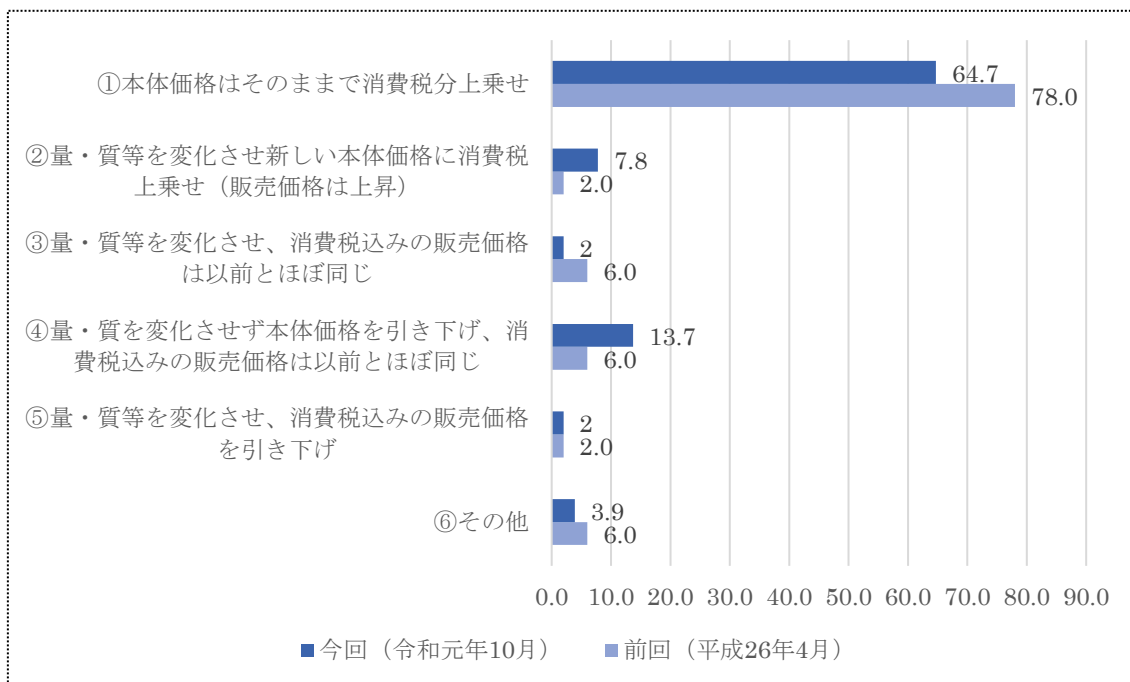
3%ポイント以上増加：「ほとんど影響なし」58.8% (+14.8)

「かなりマイナスの影響」7.8% (+3.8)

3%ポイント以上減少：「駆け込み需要等でややプラスの影響」7.8% (-18.2)

D I 値：41.2 (-8.8) (50%未満)

(図表 18) 質問 17 消費税率引上げ分の価格転嫁状況



前回の消費税率引上げ時(平成 26 年 4 月)との比較

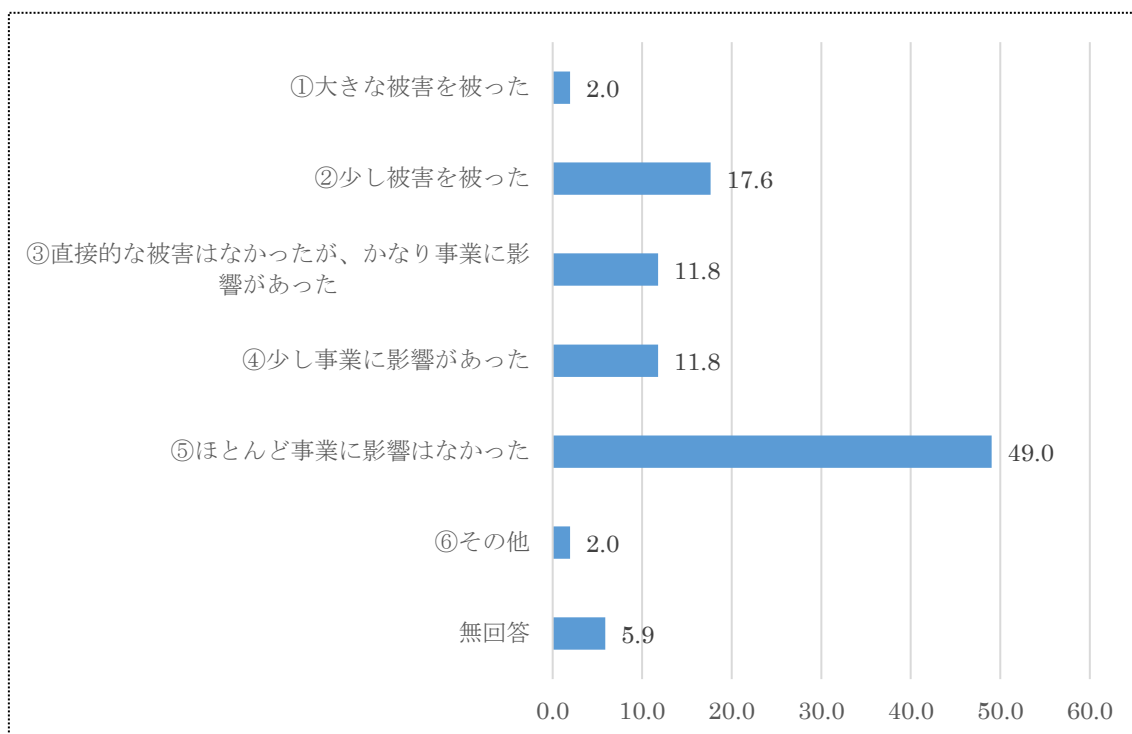
3%ポイント以上増加：

- ④「量・質を変化させず本体価格を引下げ、消費税込みの価格は以前とほぼ同じ」13.7% (+7.7)
- ②「量・質等を変化させ新しい本体価格に消費税上乗せ (販売価格は上昇) 7.8% (+5.8)

3%ポイント以上減少：

- ①「本体はそのままで消費税分上乗せ」64.7% (-13.3)
- ③「量・質等を変化させ、消費税込みの販売価格は以前とほぼ同じ」2.0% (-4.0)

(図表 19) 質問 18 令和元年秋の台風等による影響



回答割合が 10%以上であった項目

| | |
|-----------------------------|-------|
| ⑤ほとんど事業に影響はなかった | 49.0% |
| ②少し事業に影響があった | 17.6% |
| ③直接的な被害はなかったが、かなり事業には影響があった | 11.8% |
| ④少し事業に影響があった | 11.8% |

II. 小山市経済動向ヒアリング調査

令和2年2月10日、白鷗大学ビジネス開発研究所に小山市の経済動向に敏感な代表的業種の方々にお集まりいただき、ヒアリング調査（聞き取り調査）を行った。業種は住宅産業、タクシー、製造業（鋼材）、自動車販売、銀行、小売業（スーパーマーケット）、ホテル、食品小売業、家具販売業および小山商工会議所の方々である³。また、各業界関係者へのヒアリング調査実施後、同席した白鷗大学経営学部の小笠原教授（ビジネス開発研究所長）からコメントがあった。

（住宅産業）

増税前に多少の駆け込みはあったが、増税以降、好調とはいえない状況が続く、最近になって土地が動き始めた印象である。東京オリンピック、パラリンピックの影響はあまりないと思うが、インバウンドの需要に対し、道の駅とタイアップした地方創生プロジェクトを進めている。住宅やマンションはターゲットを絞り、強化していく必要があると考えている。働き方改革については、iPadの支給により、効率化やIT化が大きく進んだように感じる。現場での図面の確認やタイムリーなやり取りがしやすくなり、残業が減った。女性を積極的に採用しようとする動きがみられる。3歳未満の子供がいる男性社員は子供が3歳に達する日の前日までに1カ月の休みを取るよう推し進められ、働きやすい環境になってきている。小山の支店では人手不足を感じないが、建築の現場では高齢化や、若い人が定着しづらいことから、外国人労働者の受け入れ態勢の強化や、海外に訓練校をつくって積極的に登用できる仕組みをつくっているところである。

2020年の経済・経営環境で最も関心を持っていることは、当社はSDGsに力を入れているが、一般社会では十分には浸透していないため、今後、どの程度なじんでいくかという点である。2020年の小山市の施策で期待することは、空き家対策、土地の整理・開発である。西口の開発が拡大し、空き地の活用にもつながっていくことを期待している。小山地区の土地価格、特に城南地区については、バブルのような状況になってきている。分譲については、マンションが東口、西口で盛んに行われており、人口増加にも影響があるのではないかと思う。

（タクシー）

消費税の増税や台風による水害の被害等により、10月以降、月を追うごとに徐々に売上が落ちている状況である。特に金曜、土曜は1.2～1.3倍、売上が上がっていたが、それがあまり見受けられなくなってしまった。12月の忘年会もかなり減っている。2020年の景気見通しは、開催地や観光地では観光客や訪日

³ 当日欠席の食品小売業、家具販売業は個別に電話等でヒアリング調査を行った。

外国人の利用が期待できるが、小山市では観光資源もなく、そういった期待が持てない。働き方改革としては、正規と非正規の不合理な格差の解消、同一労働同一賃金、休みを多く取るといったことに取り組んでいる。二種免許の取得に関わる教習所の費用の全額補助、求人折り込みや求人誌、ネット求人会社への登録をしているが、なかなか人が集まってこない。世界経済がかなり失速し、景気が悪くなっていくので、生き残りをかけている。現在、小山市はタクシー会社が7社あり、24時間やっている会社は3社である。タクシーは公共交通機関の一部になっており、必要とされるときには車が行けるような態勢を取りたいが、人が集まらなければ、24時間はできなくなるのではと感じている。栃木県内で小山市は2番目に外国人が多く住んでいる。当社では、そのような方がタクシーに乗りやすいように、今年の5、6月までには、多言語のタブレットをタクシーに導入しようと動いている。日本のタクシー運賃は、世界的にイギリスやアメリカと比べても高いわけではないが、初乗り運賃は高いため、すでに東京では、初乗り短縮運賃が始まっている。今年の2月から埼玉、千葉、神奈川県において初乗り500円が始まった。栃木県でも、今年度3月か4月頭には、同じように距離短縮運賃、初乗り500円になる予定である。燃料費の高騰のほか、車両費も昔のタクシーと比べて1.5倍から2倍高くなっており、それらにかかる設備投資などのために、おそらく運賃は7~8%上がると思われる。

小山市の施策については、今のコミュニティバスの運行の拡大、車両の大型化、増便、運行時間の拡大によって、タクシー業界はかなり厳しい状況になっており、共存共栄が図れなくなっている。

(製造業 (鋼材))

製造業はBtoBのため、消費税の引上げ等の影響として、駆け込みもほとんどない。2019年は2018年に比べると売上、利益率とも、平均すると20%程度低下した。19年の後半になるに従って厳しい状況が強まってきた。米中摩擦の影響により中国の景気が減速しているため、中国に対する日本からの輸出にかなり影響が出てきている。前半は半導体関係で日韓の問題もあったため、製造装置の輸出にかなりブレーキがかかった。さらに、新型肺炎の影響で、2020年、特に前半は、おそらくかなり厳しいと考えられる。当社の所属する工業団地や市内の工場関係者の方から、中国から部品が入ってこないために、製品を組み立てられないという話を聞く。当社も、中国で作っているものが入ってこない、便がない、国内に振り向けようとしても急な話で決まらないということがあった。製造業で部品を中国に発注している企業は多く、影響は出てくると考えられる。

働き方改革については、数年前にユースエールを取得しており、残業や有休取得など対応できていると思う。人手不足という点は、直近では仕事量が減少して

いるため当社はあまり問題ではなく、人材育成を課題と捉えている。社内勉強会や外部派遣といった教育は成果がなかなか見えにくく、費用対効果という点では非常に厳しいが、やらないといけないということで取り組んでいる。当社は外国人を採用していないが、団地の中を見ると、自転車通勤の外国人研修生と出会う。極端に増えてはいないが、これから増えていくのではないかと思う。製造業の半導体関係は明るさを増しており、製造装置ではフル生産に近く、増産になるという話も聞く。

小山市の施策で期待することは、工業振興課で工業団地や工業関係に対する補助金や助成金を県内他市よりも厚くしていただいているので、さらに充実していただければ有難い。

(自動車販売)

当社も含めて自動車業界全体、2019年は消費税の引き上げ前の9月までは、2018年を上回るペースで来ていたが、10、11、12月は前年に比べて3割近く落ちた。18年と19年の比較では約1.5%減である。水害については、特に栃木と佐野で特需というような形になった。現在、中国がアメリカよりも自動車メーカー全体の販売比率において世界で一番大きい。新型コロナウイルス発祥の地の武漢で作っている部品があり、代替でうまくいけるか、それともそのまま影響を受けることになるのか、現段階ではわからない状況にある。政府のサポカー補助金により、多少なりとも全体的な下ブレが収まってくることを期待している。

働き方改革については、当社は数年前から、店でiPadを利用するようになり、動画もあり疑似体験も可能で、説明がしやすくなった。昨年、有給休暇5日の取得が義務づけられ、今年、1~3月の一番忙しいときに有休を取らざるを得ないことが出てしまったため、来年度は計画的に行いたい。休みを増やし残業を減らすことは非常に難しい課題であるが、業界の好事例を参考に改善していくつもりである。当社は採用には至っていないが、整備士の資格を持った外国の方が入社試験を受けに来るようになった。整備士が極端に減っているので、高校生を入社させて、当社で整備士の資格を取らせることも増えている。2020年の経済、経営環境は、オリンピックその他には期待しているが、新型コロナウイルスの影響により、今後が心配である。

2020年の小山市の施策で期待することは、前回の補助金の際に、小山市で追随し、各市が追随したような、サポカー補助金プラスアルファの補助金制度を期待している。

(銀行)

全体的に、設備ニーズを中心に資金需要は弱含みである。2019年9月の小山市の融資の年増率は1.5%である(宇都宮市は0.8%)。工場の誘致や新店舗出店を行っている企業もある。ここに来て、建設や不動産を中心に、駅の西口、東口、それ以外のところでもややそういった設備が活況と感じている。一方、企業の淘汰、廃業等も増えている。多くの金融機関が不測の事態に備えて貸倒引当金を積む流れになっており、状況が厳しいことが全国的に表れている。銀行は帰りが遅いというイメージがあると思うが、今は、20時になると、パソコンが全部自動シャットダウンになる。時差勤務の制度も応用して活用している。人手不足は金融機関にとっても大きな課題と考えている。パート募集も集まりが悪い。経済・経営環境で最も関心があることは、米中、新型コロナウイルス、金利の引き上げ時期である。金利を引き上げるようになったときに、交渉がどのようにできるのか、課題として認識している。

小山市の施策で期待することは、小山市に明るくならしてもらいたいこと、そのためには、企業誘致、もう一つは、学生を含めてここに残ってもらいたいことであり、一緒になってやっていきたい。

(小売業(スーパーマーケット))

12月20日から25日のクリスマスの期間は昨年対比で89.5%、年末26日から1月5日は96.9%であった。暖冬の影響が非常に大きくアパレル関係では85%であり、この影響が大きかったと考えられる。食品関係はそれほど大きな変動がないものだが、今回はクリスマス、年越し、パーティー関連の商材が非常に悪かった。消費税率の引き上げの影響はほとんどなく、大量な買い込みもなかった。軽減税率導入による混乱は見られない。働き方改革については、現場を見ていると、なかなか進んでいない状況である。人手不足については、65歳以上のパートタイマーが12~13%を占めているため、この方たちが70歳を超えて退職していくと、相当影響が出てくるという認識である。

小山市の施策の共通商品券はかなり定着している。他方、国がやっている「わくわく商品券」はほとんど利用・認知されておらず、このような状況のままで終わってしまうのは残念である。

(ホテル)

今回、ホテルの中で使う資材が上がるために、2%以上の値上げをしたが、特に問題はなく、前年と比べて予約状況はほとんど変わらない状況であった。10月に入ってからは、台風、水害の影響で、栃木市の企業の復旧工事のための工事業者や他店舗の応援の方、国土交通省などの宿泊があり、最終的には10月、11月、

12月共に、前年度をやや上回った。

働き方改革として、昨年は早いうちに有休を社員に取らせていたが、今年からはどうしようか悩んでいる。人手が不足し求人広告を出してはいるが、こちらで求める人材と応募してくる人材がマッチしない、あるいは採用後に辞めたりご遠慮いただいたりすることもある。小山にいる外国の方は小山の工場、会社、企業にいらっしゃる方々で、観光にはほとんど来ない。コロナウイルスに関しては、私が把握しているところでは3社で中国からの視察の予定がなくなっている。お客様とその会社の方の宿泊のある展示会が小山で予定されていたが中止になった。

2020年に小山市の施策で期待することは、企業誘致と人口増加である。ホテルとしては、小山は月曜日から金曜日まで、どのホテルも満室状態になるが、土曜、日曜は減るため、土日に大きなイベントがあると有り難い。

今のところ、工事や機械メンテナンス、修繕といった方々の宿泊が見受けられる。これは8月からずっと見受けられる顕著な傾向で、小山の工場の老朽化が進んでいるため、景気が悪くなる前に直すためだという話をいくつか伺った。オリンピックとパラリンピックについては、全く見通しが立たないが、小山のホテルは今のところ東京のホテル並みに上げる様子もなく、小山に泊まって、宇都宮線で東京や埼玉の会場に見に行ったほうが安く上がる。大宮でのコンサートやフィギュアスケートの大会でそのような利用をされた方がいらっしゃったので、期待したい。

(食品小売業)

軽減税率導入、消費税引き上げ、キャッシュレス還元に対応するために事前にレジの手直しの対応等の設備投資を行うと同時に、店舗間のネットワークを構築した。手間とコストはかかったが、よい機会となったと前向きにとらえている。キャッシュレスのポイント還元という施策により、キャッシュレスの割合が1%から20%くらいにまで上昇した。キャッシュレス化には効果があったようである。その結果、業務が効率化された。消費税率引上げ後の売上は横ばい傾向であり、大きな落ち込みはない。軽減税率導入に伴っての混乱は特になく、対応できている。

(家具販売業)

消費税率引上げの影響は、寝具類などの金額のはるものについて前回の消費税率引き上げよりも売り上げに影響が出ているが、大幅な減少ではない。駆け込み需要はあったが、反動はそれほどでもない。

(小山商工会議所)

小山商工会議所の景気動向調査では、全業種的に「横ばい」という回答が非常に多かった。小売業は消費税前の駆け込み需要により、一時的に売上が増加に転じたところがあったが、10月以降の消費者の節約志向により、伸び悩んでいる。消費税の影響については、平成26年の時はかなり影響したが、今回、中小零細企業はそれほど影響を受けなかったようである。台風19号が消費税の税率の引き上げと同時にあったため、その点で売上の落ち込みは少しあったと聞いている。台風19号は、立木、大行寺地区、白鷗大学の大行寺キャンパス付近がひどく、前回の被害と比べると小さくは済んだが、同じところが何か所も被害に遭ったために廃業を考えているところが何軒かある。早急に大行寺地区が水害にならないような施策を小山市にお願いしたい。軽減税率についての影響は少ないが、経理事務に負担がある。特に、飲食店の場合、複数税率のレジを導入することが必要になると商工会議所でも話をしたが、消費税に対する関心は薄く、始まってからバタバタし始めた企業もあった。店内に飲食スペースがあるところではどちらだかわからない、消費税へのクレームが出たなどの理由から増税分を負担する店もあり、採算悪化につながるのではないかと心配している。

今後の景気の見通しは、オリンピック・パラリンピックがあるため、好調に推移するが、米中の貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響により、中国経済がかなり減速しているため、オリンピック以降の反動が非常に怖いという意見がとても多かった。

全業種的に、何度アンケートを取っても人手不足の問題は出てくる。人口が減少しているため、社会構造的に解決は難しいと会議所は判断している。特に、製造業、建設業において深刻であり、受注を断っているところもあると聞いている。また、人が入っても、1年から3年で退職してしまう。中小零細企業では、労働環境を改善すると採算に影響するため、賃上げに至らない。賃金が上がらないと人は集まらないという大変な状況にあるという話も聞く。働き方改革については、中小企業、零細企業はほとんど考えていない。有給休暇を取得させたり、時間外労働を規制したりすると、人手不足が深刻化して採算が悪化するからできないと言われる。働き方改革の相談会では、特に、建設業の方が相談に来られる。小山で創業意欲のある方は非常に多い。創業塾をやると、今回も20人定員募集で20人丸々集まる。反面、近年では中・小規模事業者の廃業が非常に増えているというのも現状である。理由については、採算の悪化や事業主の高齢化もあるが、後継者不足が大きな要因となっている。

(小笠原教授)

ここ数年、個人的な感触ではあるが、東京志向の学生が随分増えている。働きやすさや東京という場所への希望によるものであり、その点で地域にできることはあると考えている。例えば、企業でハラスメントの問題があると、うわさでバツと広がり、1件でも北関東は駄目なんだなという話が出てしまう。職場や地域社会の中でハラスメントの問題を減らしていく、働きやすい、特に女性が働きやすい環境をどのように打ち出していくのかを地域的に考えていく必要がある。

今年度、茨城県結城市と私のゼミナールの共同研究の調査で、「若者が逃げるのではなくて、地域から追い出されるのだ」という結果を出し、あちこちの自治体で大紛糾した。「地域に残りたいが、地域は私たちが求めている。そのために学生が外へ出ていくんだ」と。地元の方々は「そんなことはない」と反論なされたが、結局学生を論破できなかった。学生が納得をして地域に残れるような環境づくりをわれわれも進めていきたい。皆様にもそういった雰囲気づくりをやっていただければということを感じる。

東京でビジネスをやっている友人が、キャッシュレスが5割近くなり、レジ締め時間が半分になった、経費削減の効果が出てきていると話している。学生に話を聞いていると、キャッシュレスのサービスが使えないならそこでは買わないということが出てきている。

Ⅲ. まとめ

最近の日本経済の動きを GDP 統計速報（2 次速報）で見ると、令和元年（暦年）の名目 GDP 成長率は 1.2%、実質 GDP 成長率は 0.7% となった。四半期別増加率をみると、令和元年 7～9 月（季節調整済、前期比）は名目 0.4% 増、実質 0.0% 増、令和元年 10～12 月期は名目 1.5% 減少、実質 1.8% 減少（年率 7.1% 減少）となっており、令和元年 10 月 1 日からの消費税率引上げの影響による民間消費の落ち込みに加え、米中貿易摩擦の影響による輸出の減少等も響いて令和元年 10～12 月期は予想を上回る落ち込みとなった。

こうした中、小山市の景況について令和元年 12 月に実施した「小山市景気動向アンケート調査（令和元年度第 2 回）」の結果をみると、令和元年下半期（元年 7～12 月期）の小山市の景気の現状（水準）をきいた質問の回答では、「やや悪い」「悪い」が増加し、「どちらともいえない」が減少したことなどから、D I 値では 38.5% と前回調査（令和元年 6 月、以下同じ）の 44.5% からさらに低下し、2 期連続で 50% 未満となった。「やや悪い」という回答の理由としては、「客数の減少、消費増税の影響あり」、「買い控えがうかがえる」などがあがっている。また、回答割合の高い「どちらともいえない」という回答の理由としては、「消費者アップの影響はあるものの、大幅減にはなっていない」、「消費税 10% も定着している」などがあがっている。小山市の景気の先行き（2 年 1～6 月の見通し）については、前回調査に比べると、「やや良くなる」が増加し、「やや悪くなる」が減少したことなどから D I 値では 47.6% と前回（45.6%）からやや上昇したが、50% 未満となった。回答の理由としては、「やや良くなる」と回答した企業では、「小山駅周辺に新しい建物ができたから」、「東京オリンピックに向けての期待」などが、「変わらない」と回答した企業では、「5% 還元が続くので」、「プラス要因が見当たらない」などがあがっている。一方、「やや悪くなる」と回答した理由では「米中貿易摩擦の影響」「先がみえない」などがあがっている。

自己の企業や業界の売上金額の増減についての回答をみると、令和元年下半期（7～12 月期）は令和元年上半期（1～6 月期）に比べ「やや減少した」が増加し、「増加した」「変わらない」が減少したことなどから、D I 値は 40.3% と低下し、2 期連続で 50% を下回った。「やや減少した」理由としては、「来客数が減少している」（小売業）、「住宅展示場の来場者が減少している」（不動産・住宅業）などがあがっている。先行き（来半期）の売上高見通しの D I 値は 48.7% と前回（46.8%）からやや上昇したが、50% を下回った。

令和 2 年上半期（1～6 月期）の業界の販売価格の見通しについては、令和元年下半期（7～12 月期）に比べて、「変わらない」が増加し、「やや低下する」が減少したことなどから、D I 値では 50.3% と前回（49.5%）からいくぶん上昇

し、4期ぶりに50%を超えた。令和2年上半期（1～6月期）の雇用見通しについては、令和元年下半期（7～12月期）に比べて、「不足する」が増加し、「横ばい」が減少したことなどからD I値は59.4%と前回（57.3%）から上昇した。なお、資金繰りの状況については、今回調査ではD I値は47.0%と前回（52.2%）から低下し、50%を下回った。また、令和元年度の賃金等の状況をみると、前回調査（平成30年度賃金）と比べて「ボーナスの実施」「定期昇給の実施」「ボーナスの増額」などが増加し、「定期給与・ボーナス等の変更なし」などは減少した。

今回のアンケート調査で追加質問した「消費税率引上げと軽減税率の導入の影響」に関する質問については、「ほとんど影響なし」（58.8%）が6割弱であるが、「ややマイナスの影響がある」（23.5%）、「かなりマイナスの影響がある」（7.8%）も合わせて31.3%となっており、「駆け込み需要等でややプラスの影響」は7.8%であった。令和元年秋の台風等による事業活動への影響については、「ほとんど事業に影響はなかった」が半数弱（49%）を占めたものの、「少し被害を被った」（17.6%）、「直接的な被害はなかったがかなり事業に影響があった」（11.8%）「少し事業に影響があった」（11.8%）、「大きな被害を被った」（2.0%）とマイナスの影響も合わせて43%になっている。

令和2年2月に開催したヒアリング調査の結果をみると、景気については、製造業を中心に中国向けの輸出が米中貿易摩擦の影響を受けた中国経済の減速でブレーキがかかり、さらに新型コロナウイルスの拡大が追い打ちをかけている、消費税率引上げ、軽減税率導入については前回に比べて落ち込みは小さく、混乱もなかった、とのことであった。先行きについては、新型コロナウイルスの拡大がいつ終息するかが最大の関心事となっており、オリンピック・パラリンピックの影響については、小山市は観光資源も少ないことからあまり影響がないとの声が多かった。働き方改革については、人手不足もあって各社、各業界とも工夫しながら有給休暇の消化や残業削減の促進、正規・非正規の不合理な格差解消などに取り組んでいる、とのことであった。

以上のように、令和元年度第2回小山市景気動向アンケート調査結果から令和元年下半期（7～12月期）の小山市の景況感をみると、現状は前回調査からさらに悪化し、D I値で50%を2期連続で下回った。この背景としては、令和元年10月に実施された消費税率引上げの影響に加え、製造業を中心に米中貿易摩擦の影響があるとみられる。先行きについては、12月のアンケート調査ではD I値でみるとわずかながら上昇したものの、50%を下回った。その後、新型コロナウイルス流行拡大でその影響が経済面でも広がることが予想され、新型コロナウイルス流行の終息が遅れば、小山市においても製造業や観光・イベント関連を中心に景気が一層落ち込むことが懸念される。

<参考資料1>

小山市景気動向アンケート調査 調査票（令和元年度第2回）

（2019年12月現在の状況でお答え下さい。4ページ目までご記入のほどよろしくお願ひ申し上げます。）

質問1 現在の小山市の景気についての質問です。あなたの日々の仕事やお客様の様子からみて2019年下半年期（7～12月期）の景気は良いと思いますか、悪いと思いますか。（水準）

- ①良い ②やや良い ③どちらともいえない ④やや悪い ⑤悪い

質問2-1 質問1のご回答の理由として、どのような点に着目されましたか。もっとも適当と思われるものを一つ選んでください。「⑥それ以外」の場合は、その理由を（ ）内に記入して下さい。

- ①小山市の人出の状況 ②お客様や取引先の様子（購買態度など）
③物価の動き ④雇用の状況 ⑤周辺地域の様子
⑥それ以外（ ）

質問2-2 質問2-1の回答内容について具体的に説明してください。

質問3 小山市の景気の先行きについての質問です。あなたの日々の仕事やお客様の様子からみて、2020年上半年期（1～6月期）の景気は、2019年下半年期（7～12月期）と比べて良くなると思いますか、悪くなると思いますか。（将来の方向）

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

質問4 質問3でそのように回答した理由を教えてください。

質問5 貴店（貴社）の売上げ等からみて、貴業界の小山市における2019年下半年期（7～12月期）の需要（季節的な要因を除く）は、2019年上半年期（1～6月期）にくらべて売上金額でみて増加したと思いますか。

- ①増加した ②やや増加した ③変わらない ④やや減少した ⑤減少した

質問6-1 質問5でそのように回答された理由として、もっとも適当と思われるものを一つ選んでください。

(家計消費向け取引の場合)

- ①来客数の動き ②販売量の動き ③客単価の動き ④販売価格の動き
⑤お客様の様子 ⑥競争相手の様子 ⑦それ以外 ()

(企業向け取引の場合)

- ①受注量や販売量の動き ②受注価格や販売価格の動き ③取引先の様子
④競争相手の様子 ⑤それ以外 ()

質問 6-2 質問 6-1 の回答内容について具体的に説明してください。

質問 7 貴店(貴社)の売上げの動き等からみて、貴業界の小山市における 2020 年上半期 (1~6 月期) の売上高 (生産高) の見通しをお伺いします。2019 年下半期 (7~12 月期) と比べて、季節的要因を除いて、2020 年上半期 (1~6 月期) の売上高 (生産高) は増加すると思いますか。(売上高の先行き)

- ①増加する ②やや増加する ③変わらない ④やや減少する ⑤減少する

質問 8 質問 7 でそのように回答した理由を教えてください。

質問 9 貴店(貴社)の販売価格の動き等からみて、貴業界の小山市における 2020 年上半期 (1~6 月期) の販売価格の見通しをお伺いします。2019 年下半期 (7~12 月期) と比べて、2020 年上半期 (1~6 月期) の販売価格はどうなると思いますか。(価格見通し)

- ①上昇する ②やや上昇する ③変わらない ④やや低下する ⑤低下する

質問 10 貴店(貴社)の雇用(従業員)の状況等からみて、貴業界の小山市における 2020 年上半期 (1~6 月期) の雇用状況の見通しをお伺いします。2019 年下半期 (7~12 月期) と比べて、2020 年上半期 (1~6 月期) の雇用状況はどうなると思いますか。(雇用見通し)

従業員が

- ①不足する ②やや不足する ③横ばい ④やや過剰となる ⑤過剰となる

質問 11 貴店(貴社)あるいは貴業界における資金繰りの状況をお伺いします。貴店(貴社)の 2019 年下半期 (7~12 月期) における資金繰りは、2019 年上半期 (1~6 月期) にくらべて改善しましたか、悪化しましたか。

- ①改善した ②やや改善した ③どちらともいえない ④やや悪化した ⑤悪化した

質問 12 質問 11 でそのように回答した理由をあげて下さい。 (複数回答可)

- ①売上高の変化 ②設備資金需要の変化 ③仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化
- ④人件費の変化 ⑤金融機関の貸出態度の変化 ⑥金融政策、金利の変化
- ⑦その他 (具体的に、)

質問 13 貴店(貴社)における令和元年度の主な従業員の賃金等の状況をお伺いします。

(あてはまるものすべてに○、複数回答)

- ①ベースアップを実施 ②ボーナスの実施 ③定期昇給を実施 ④ボーナスの増額
- ⑤ボーナス以外の手当の増額 ⑥定期給与・ボーナス等の変更なし
- ⑦定期給与の引下げ ⑧ボーナスの減額 ⑨ボーナス以外の手当の減額
- ⑩その他 ()

質問 14 質問 13 でそのように回答した具体的内容・理由を記入して下さい。

質問 15 2019年10月に実施された消費税率引上げと軽減税率導入の貴社(貴店)への影響についてお尋ねします。(2019年下半期(7~12月期)の影響)

- ①駆け込み需要等でかなりプラスの影響 ②駆け込み需要等でややプラスの影響
- ③ほとんど影響なし ④ややマイナスの影響 ⑤かなりマイナスの影響
- ⑥その他 ()

質問 16 質問 15 でそのように回答した具体的内容・理由を記入して下さい。

質問 17 貴社(貴店)の取り扱う主な商品・サービスの消費税率引上げ分の価格転嫁状況についてお伺いします。

- ①本体価格はそのままで消費税分上乗せ
- ②量・質等を変化させ、新しい本体価格に消費税分上乗せ(販売価格は上昇)
- ③量・質等を変化させ、消費税込みの販売価格は据え置き
- ④量・質等を変化させず、本体価格を引下げ消費税込みの販売価格は以前(8%)と同じ
- ⑤量・質等を変化させ、消費税込みの販売価格を引下げ
- ⑥その他 ()

質問 18 今秋の台風等による貴社（貴店）への影響についてお伺いします。

- ①大きな被害を被った ②少し被害を被った
- ③直接的な被害はなかったが、かなり事業に影響があった
- ④少し事業に影響があった ⑤ほとんど事業に影響はなかった
- ⑥その他（ ）

[フェースシート]

小山市経済動向実態調査以外の目的には一切使用いたしませんので、下記の項目にご記入いただきますようお願い申し上げます。

1. 貴店(貴社)のお名前

2. 貴店(貴社)の業種(小山市にある事業所(店舗)で取り扱っている業種)

3. 貴店(貴社)の従業者数(小山市の事業所(店舗)における従業者)

4. 貴店(貴社)の年間売上げ(小山市の事業所(店舗)における売上げ(概数で結構です))

5. 貴店(貴社)の小山市の店舗(事業所)における売上げのうち、小山市内の企業、消費者からの需要の割合はおよそどのくらいですか。一つ選んで○をつけてください。
①80~100% ②60~80% ③40~60% ④20~40% ⑤0~20%

6. 調査の回答に関する連絡先

(お忙しいところご協力どうもありがとうございました。ご回答いただきました方には、次回調査時に今回の調査結果とともに、些少ながらクオカード(1000円)をお送りいたします。)

「小山市経済動向実態調査」

委託元 小山市産業観光部商業観光課

調査受託 白鷗大学ビジネス開発研究所

電話：0285-22-1111 (大学・代表)

0285-20-8125 (研究所)

Fax：0285-20-8157

調査担当 (吉川、西谷、櫻庭)

<参考資料 2>

①選択回答 1～7（企業番号 1～25）

| No. | 質問 1 | 質問 2 | 質問 3 | 質問 5 | 質問 6 | | 質問 7 |
|-----|------|------|------|------|------|----|------|
| | | | | | 家計 | 企業 | |
| 1 | 3 | 2 | 3 | 2 | 5 | — | 3 |
| 2 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 3 | 3 |
| 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | — | 1 | 3 |
| 4 | 3 | 2, 4 | 2 | 2 | — | 3 | 2 |
| 5 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1 | 4 |
| 6 | 3 | 2 | 3 | 3 | — | 1 | 3 |
| 7 | 4 | 2 | 3 | 5 | — | 1 | 3 |
| 8 | 2 | 4 | 2 | 3 | 2 | — | 3 |
| 9 | 3 | 5 | 3 | 4 | — | 1 | 3 |
| 10 | 4 | 2, 6 | 4 | 4 | 1 | — | 3 |
| 11 | 4 | 2 | 3 | 4 | — | 1 | 3 |
| 12 | 4 | 1, 2 | 2 | 4 | 1, 6 | 1 | 2 |
| 13 | 5 | 6 | 2 | 4 | — | — | — |
| 14 | 4 | 2 | 4 | 4 | — | 3 | 4 |
| 15 | 4 | 2 | 2 | 4 | 2 | — | 2 |
| 16 | 4 | 2 | 4 | 4 | 1 | — | 4 |
| 17 | 4 | 2 | 3 | 4 | 3 | 1 | 3, 4 |
| 18 | 3 | 1 | 4 | — | 7 | 7 | — |
| 19 | 3 | 2 | 3 | 2 | 7 | — | 2 |
| 20 | 5 | 2 | 3 | 4 | 5 | 2 | 3 |
| 21 | 4 | 2 | 3 | 3 | 2 | — | 2 |
| 22 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1, 2 | — | 3 |
| 23 | 2 | 5 | 2 | 3 | — | 3 | 3 |
| 24 | 4 | 2 | 3 | 3 | 1 | — | 3 |
| 25 | 4 | 1 | 4 | 4 | 5 | 2 | 4 |

①選択回答 1～7（企業番号 26～51）

| No. | 質問 1 | 質問 2 | 質問 3 | 質問 5 | 質問 6 | | 質問 7 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| | | | | | 家計 | 企業 | |
| 26 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2, 4 | 3 | 2 |
| 27 | 3 | 2 | 3 | 3 | 2 | — | 3 |
| 28 | 4 | 2 | 4 | 5 | — | 1, 2 | 3 |
| 29 | 4 | 2 | 3 | 3 | 1 | 3 | 3 |
| 30 | 3 | 2 | 4 | 4 | 1 | — | 3 |
| 31 | 2 | 4 | 3 | 2 | 2 | 1 | 3 |
| 32 | — | — | — | — | — | — | — |
| 33 | 4 | 2 | 4 | 4 | 2 | 1 | 4 |
| 34 | 5 | 2 | 3 | 4 | — | 1 | 3 |
| 35 | 3 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 |
| 36 | 3 | 5 | 3 | 3 | 1 | — | 3 |
| 37 | 3 | 2 | 4 | 4 | 2 | 3 | 3 |
| 38 | 4 | 2 | 4 | 4 | 2 | 1 | 4 |
| 39 | 4 | 2 | 3 | 4 | 1 | 1 | 4 |
| 40 | 3 | 2 | 3 | 2 | — | 1 | 3 |
| 41 | 4 | 2 | 3 | 4 | 2 | 3 | 3 |
| 42 | 4 | 5 | 3 | 4 | — | 3 | 3 |
| 43 | 4 | 2 | 3 | 4 | 1 | 3 | 2 |
| 44 | 4 | 6 | 3 | 3 | 1 | — | 3 |
| 45 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1 | 1 | 3 |
| 46 | 2 | 2 | 3 | 3 | — | 3 | 3 |
| 47 | 4 | 2 | 4 | 4 | 1 | — | 4 |
| 48 | 4 | 2 | 3 | 3 | 1 | 3 | 3 |
| 49 | 4 | 2 | 4 | 4 | 7 | 1 | 4 |
| 50 | 3 | 2 | 3 | 3 | — | 1 | 3 |
| 51 | 3 | 3 | 4 | 3 | 2 | 3 | 3 |

①選択回答 9～15（企業番号 1～25）

| No. | 質問 9 | 質問 10 | 質問 11 | 質問 12 | 質問 13 | 質問 15 | 質問 17 | 質問 18 |
|-----|------|-------|-------|---------|------------|-------|-------|-------|
| 1 | 3 | 3 | 3 | 1, 4 | 2, 3, 4 | 3 | 1 | 1 |
| 2 | 3 | 3 | 3 | 1, 4 | 6 | 3 | 1 | 5 |
| 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 1, 2, 3, 4 | 3 | 1 | 5 |
| 4 | 3 | 3 | 3 | 1, 4 | 2 | 3 | 1 | 5 |
| 5 | 3 | 2 | 3 | 7 | 3 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 3 | 3 | 3 | 1 | 2, 3 | 3 | 1 | 5 |
| 7 | 3 | 3 | 4 | 1 | 2, 3, 8 | 3 | 1 | 5 |
| 8 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1, 2, 3, 4 | 3 | 1 | 3 |
| 9 | 3 | 3 | 4 | 1 | 2, 3 | 3 | 1 | 5 |
| 10 | 4 | 2 | 3 | 3, 4 | 1, 2, 3 | 4 | 1 | 4 |
| 11 | 3 | 3 | 3 | 3 | — | 5 | 6 | 5 |
| 12 | 2 | 3 | 4 | 1 | 3 | 4 | 4 | 3 |
| 13 | — | — | — | — | 1, 2, 5 | 2 | 1 | — |
| 14 | 4 | 3 | 3 | 7 | 6 | 3 | 1 | 2 |
| 15 | 3, 4 | 2 | 3 | 1, 4 | 10 | 2, 5 | 1 | 5 |
| 16 | 4 | 4 | 3 | — | 9 | 4 | 4 | 5 |
| 17 | 4 | 3 | 4 | 7 | 3 | 4 | 1 | 5 |
| 18 | — | — | 4 | 1 | 3 | 4 | 1 | 6 |
| 19 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1, 2, 3, 4 | 3 | 1 | 5 |
| 20 | 3 | 3 | 3 | 3 | 6 | 5 | 1 | 4 |
| 21 | 2 | 1 | 3 | 2, 3 | 1, 2, 3, 4 | 2 | 2 | 2 |
| 22 | 2 | 2 | 3 | 1, 4 | 5 | 3 | 1 | 4 |
| 23 | 3 | 1 | 3 | 4 | 2, 3 | 3 | 1 | 4 |
| 24 | 3 | 2 | 4 | 1, 3, 4 | 1, 3 | 3 | 1 | 4 |
| 25 | 4 | 2 | 3 | 5 | 6 | 4 | 2 | 3 |

①選択回答 9～15 (企業番号 26～51)

| No. | 質問 9 | 質問 10 | 質問 11 | 質問 12 | 質問 13 | 質問 15 | 質問 17 | 質問 18 |
|-----|------|-------|-------|---------|------------|-------|-------|-------|
| 26 | 2 | 3 | 2 | 1, 4 | 4 | 3 | — | 2 |
| 27 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1, 2, 3 | 3 | 4 | 5 |
| 28 | 4 | 3 | 5 | 1, 3 | 10 | 3 | 1 | 5 |
| 29 | 3 | 3 | 3 | 1 | 6 | 3 | 1 | 5 |
| 30 | 3 | 3 | 3 | 1, 3, 4 | 2 | 4 | 4 | 2 |
| 31 | 2 | 2 | 3 | 3 | 6 | 4 | 4 | 5 |
| 32 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 33 | 3 | 4 | 3 | 1 | 1, 2, 3, 8 | 3 | 1 | 5 |
| 34 | 3 | 1 | 5 | 1 | 2, 6 | 5 | 1 | 5 |
| 35 | 3 | 3 | 2 | 7 | 10 | 3 | 2 | 5 |
| 36 | 3 | 3 | 3 | — | 6 | 3 | — | 5 |
| 37 | 4 | 2 | 3 | 1, 3 | c | 3 | 6 | 4 |
| 38 | 4 | 4 | 3 | 1 | 2 | 3 | 5 | 2 |
| 39 | 2 | 3 | 3 | 1, 3 | 6 | 2, 5 | 1 | 2 |
| 40 | 3 | 3 | 3 | 1 | 4, 5 | 3 | 2 | 2 |
| 41 | 3 | 1 | 3 | — | 6 | 4 | 1 | 2 |
| 42 | 3 | 3 | 3 | 4 | 2 | 3 | 1 | 5 |
| 43 | 3 | 3 | 3 | 1, 2 | 1, 2, 3 | 4 | 1 | 3 |
| 44 | 2 | 3 | 3 | 1 | 3 | 3 | 1 | 3 |
| 45 | 3 | 3 | 3 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 |
| 46 | 2 | 1 | 3 | 4, 7 | 1, 2, 4 | 3 | 1 | 5 |
| 47 | 3 | 2 | 3 | — | 6 | 3 | 4 | 5 |
| 48 | 3 | 3 | 3 | 7 | 2 | 2 | 1 | — |
| 49 | 2 | 3 | 3 | 3 | — | 4 | 1 | 3 |
| 50 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2, 3 | 3 | 1 | 5 |
| 51 | 4 | 3 | 1 | 7 | 3, 4 | 3 | 1 | 5 |

②記述回答 1、2 (企業番号 1～25)

| No. | 質問 1 | 質問 2-1 | 質問 2-1 選択肢 6 の回答 | 質問 2-2 |
|-----|------|--------|---------------------|---|
| 1 | 3 | 2 | | 自社の売上実績、来場数など |
| 2 | 3 | 5 | | |
| 3 | 3 | 2 | | |
| 4 | 3 | 2, 4 | | |
| 5 | 3 | 2 | | 上半期と変化が無い |
| 6 | 3 | 2 | | 消費税 UP の影響はあるものの大幅減とはなっていない様子 |
| 7 | 4 | 2 | | |
| 8 | 2 | 4 | | 人手不足 |
| 9 | 3 | 5 | | 特に目立った変化を見受けられなかった |
| 10 | 4 | 2, 6 | 増税後の消費 減退 | |
| 11 | 4 | 2 | | 消費税の反動減を感じます |
| 12 | 4 | 1, 2 | | 台風 19 号による水害、復旧の為、パーティー 飲食の自粛・キャンセル |
| 13 | 5 | 6 | 消費税増税・ 台風 | |
| 14 | 4 | 2 | | 設備投資費、投資ニーズの減退 |
| 15 | 4 | 2 | | 買い控えがうかがえる |
| 16 | 4 | 2 | | 理容業ですが、お客様の利用する回数が少なくなっている。 |
| 17 | 4 | 2 | | 販売量減少 |
| 18 | 3 | 1 | | 今までは人口が増加していたが、3ヶ月ぐらい 前より減少し始めたようなので、様子見状態 |
| 19 | 3 | 2 | | |
| 20 | 5 | 2 | | 今年の夏ぐらいからお客様の購買態度が悪い。 増税の影響もあるのか・・・ |
| 21 | 4 | 2 | | 販売額減 |
| 22 | 3 | 2 | | |
| 23 | 2 | 5 | | 前月の大雨被害の復旧等で仕事が増えたから |
| 24 | 4 | 2 | | 来店サイクルの伸びと物販の減少 |
| 25 | 4 | 1 | | 小山駅の乗降のお客様の数を考えてみて |

②記述回答 1、2 (企業番号 26～51)

| No. | 質問 1 | 質問 2-1 | 質問 2-1 選択肢 6 の回答 | 質問 2-2 |
|-----|------|--------|---------------------|---|
| 26 | 2 | 3 | | |
| 27 | 3 | 2 | | 大きな変化を感じない |
| 28 | 4 | 2 | | 昨年と比べ動きがない |
| 29 | 4 | 2 | | |
| 30 | 3 | 2 | | |
| 31 | 2 | 4 | | 雇用的なことを見ても、人材が集まらないので仕事が多くあると考えられる |
| 32 | — | — | | |
| 33 | 4 | 2 | | |
| 34 | 5 | 2 | | 仕事が減っている |
| 35 | 3 | 2 | | 消費税 10%も定着している |
| 36 | 3 | 5 | | 商業施設の人出など |
| 37 | 3 | 2 | | 良い所もあれば悪いところもある |
| 38 | 4 | 2 | | 受注が減ってきている |
| 39 | 4 | 2 | | 消費税増税のため |
| 40 | 3 | 2 | | 奨学金を使って、進学を考える方が増え続けている。 |
| 41 | 4 | 2 | | 飲食店の閉店、夜分の人出減少 |
| 42 | 4 | 5 | | |
| 43 | 4 | 2 | | 住宅展示場への来場が減っている。・小山市内の土地売買物件が少なく購買意欲が上がらない。 |
| 44 | 4 | 6 | 消費税アップによる買い控え | 本年 10 月 1 日よりの消費税アップに伴い、下半期後半の売り上げ動向悪化。 |
| 45 | 2 | 2 | | |
| 46 | 2 | 2 | | 取引先で突発での修理案件が発生（大規模）で長期間におよぶ |
| 47 | 4 | 2 | | 昨年より来客数が減っている |
| 48 | 4 | 2 | | 業況悪化、賃金シュート競争増加傾向に感じたため |
| 49 | 4 | 2 | | 客数の減少、消費税増税の影響あり |
| 50 | 3 | 2 | | |
| 51 | 3 | 3 | | 消費税増税後の販売抑制がみられる |

③記述回答 3、4 (企業番号 1～25)

| No. | 質問 3 | 質問 4 |
|-----|------|--|
| 1 | 3 | 外部環境に変化もないため |
| 2 | 3 | |
| 3 | 3 | |
| 4 | 2 | |
| 5 | 3 | |
| 6 | 3 | プラス要因が見当たらない |
| 7 | 3 | 現状と比べて 2020 年上半期に景気が良くなる具体的な案件の引き合いや顧客、仕入先、メーカーからの情報も回復するようなことを全く聞かない為 |
| 8 | 2 | |
| 9 | 3 | 特に変化を起こすような判断材料が見当たらない為 |
| 10 | 4 | 競合店の新規出店 |
| 11 | 3 | 景気の動向が分からないため |
| 12 | 2 | 台風被害の復旧が一段落する為 |
| 13 | 2 | |
| 14 | 4 | 取引先の動向、ヒアリング内容より |
| 15 | 2 | 消費税アップの反動を感じる |
| 16 | 4 | |
| 17 | 3 | 人口減少 |
| 18 | 4 | 今後人口減少期に入ることを考えると |
| 19 | 3 | |
| 20 | 3 | |
| 21 | 3 | プラスになる兆候なし |
| 22 | 3 | |
| 23 | 2 | 小山駅周辺に新しい建物ができたから |
| 24 | 3 | 東京オリンピックの開催というビッグイベントはあるものの他に良くなる要因はない |
| 25 | 4 | 人口が今後減少 |

③記述回答 3、4（企業番号 26～51）

| No. | 質問 3 | 質問 4 |
|-----|------|-----------------------------------|
| 26 | 2 | 東京オリンピックに向けての期待 |
| 27 | 3 | 消費税増税での影響を心配していたが、大きな変化がない |
| 28 | 4 | 先が見えない |
| 29 | 3 | |
| 30 | 4 | |
| 31 | 3 | そんなに変化はないと思う。オリンピックで特需的なことがあると良いが |
| 32 | — | |
| 33 | 4 | |
| 34 | 3 | 人が増えないので、仕事も増えないと思われるため |
| 35 | 3 | お客が定着しているため常態として安定している |
| 36 | 3 | 消費税のアップも一因か |
| 37 | 4 | 会社を辞めていく所が多くなると思うから |
| 38 | 4 | 受注が減ってきている |
| 39 | 3 | 5%還元が続くので |
| 40 | 3 | 特に変わる要素がない |
| 41 | 3 | 消費税増税後の市民の購買力の低下 |
| 42 | 3 | |
| 43 | 3 | プラス材料が見込めていないため |
| 44 | 3 | 現状の推移が続くと思われます。 |
| 45 | 2 | 住宅地の増加 |
| 46 | 3 | 長期連休中の工事案件が予定されている（例年並） |
| 47 | 4 | 将来への不安もあり、節約しているように思われる |
| 48 | 3 | |
| 49 | 4 | 商品在庫の動きから予測人手不足感 |
| 50 | 3 | 変わる要素がない |
| 51 | 4 | 米中貿易摩擦 |

④記述回答 5、6（企業番号 1～25）

| No. | 質問 5 | 質問 6-1 | | | | 質問 6-2 |
|-----|------|--------|--------------|----|--------------|--|
| | | 家計 | 選択肢 5 の回答 | 企業 | 選択肢 5 の回答 | |
| 1 | 2 | 5 | | — | | 10 月度の増税などの影響 |
| 2 | 3 | 5 | | 3 | | |
| 3 | 2 | — | | 1 | | |
| 4 | 2 | — | | 3 | | |
| 5 | 3 | 1 | | 1 | | |
| 6 | 3 | — | | 1 | | 大きな変化なし |
| 7 | 5 | — | | 1 | | 主要顧客からの受注や引合いが軒並み減少した |
| 8 | 3 | 2 | | — | | 変化なし |
| 9 | 4 | — | | 1 | | 受注量が減少した |
| 10 | 4 | 1 | | — | | 集客の山が弱くなっている。 |
| 11 | 4 | — | | 1 | | 販売台数と車検の台数が少なかった |
| 12 | 4 | 1, 6 | | 1 | | 台風 19 号による水害により、飲食低迷した |
| 13 | 4 | — | | — | | |
| 14 | 4 | — | | 3 | | 経営者マインドの減退 |
| 15 | 4 | 2 | | — | | 必要なものしか買わない。おすすめ品はなかなか購入してくれない。 |
| 16 | 4 | 1 | | — | | 自分の年齢が高くなったからか？ |
| 17 | 4 | 3 | | 1 | | 販売単価の上昇、需要減 |
| 18 | — | 7 | 取引なし | 7 | 取引なし | 取引なし |
| 19 | 2 | 7 | 事業拡張により | — | | 令和一年度当社は野木町全域をエリアとして拡張しており顧客増加により売上が伸びている。 |
| 20 | 4 | 5 | | 2 | | |
| 21 | 3 | 2 | | — | | |
| 22 | 3 | 1, 2 | | — | | |
| 23 | 3 | — | | 3 | | 県外向けの取引が多いので |
| 24 | 3 | 1 | | — | | 来客数はほぼ変化していない |
| 25 | 4 | 5 | | 2 | | 乗客数の動向 |

④記述回答 5、6（企業番号 26～51）

| No. | 質問 5 | 質問 6-1 | | | | 質問 6-2 |
|-----|------|--------|--------------|------|--------------|---|
| | | 家計 | 選択肢 5 の回答 | 企業 | 選択肢 5 の回答 | |
| 26 | 2 | 2, 4 | | 3 | | |
| 27 | 3 | 2 | | — | | 消費税増税の影響を心配したが、販売量に大きな動きがない |
| 28 | 5 | — | | 1, 2 | | 値上げが続いている |
| 29 | 3 | 1 | | 3 | | |
| 30 | 4 | 1 | | — | | |
| 31 | 2 | 2 | | 1 | | 上半期の売り上げが前年度比でかなり減少した数字が出てしまったため。下半期は努力して製造量を増したため。 |
| 32 | 4 | 2 | | — | | |
| 33 | 4 | — | | 1 | | 単純に受注量が減っている。 |
| 34 | 3 | 2 | | 2 | | 値上げ分も 10%MO 認められているが、安い商品に変更されつつあります。 |
| 35 | 3 | 1 | | — | | 利用頻度の低下 |
| 36 | 4 | 2 | | 3 | | 台風の影響が出ている |
| 37 | 4 | 2 | | 1 | | |
| 38 | 4 | 1 | | 1 | | 来客数が減っている。発注が減っている。 |
| 39 | 2 | — | | 1 | | 台風被害でものを新調したケースが多いのでは |
| 40 | 4 | 2 | | 3 | | 電話での注文が減少している |
| 41 | 4 | — | | 3 | | |
| 42 | 4 | 1 | | 3 | | 住宅展示場の来場数が減少している |
| 43 | 3 | 1 | | — | | 来店客数は横ばいで推移。消費税アップ前に一時的に集客が凶れたが、その後の動きは低下し全体で変わらず。 |
| 44 | 3 | 1 | | 1 | | |
| 45 | 3 | — | | 3 | | 生産状況は横ばい |
| 46 | 4 | 1 | | — | | 来客数が減っている |
| 47 | 3 | 1 | | 3 | | |
| 48 | 4 | 7 | 消費増税 | 1 | | 消費増税の影響による売上減少 |
| 49 | 3 | — | | 1 | | 売上の増減 |
| 50 | 3 | — | | 1 | 売上の増減 | |
| 51 | 3 | — | | 1 | | |

⑤記述回答 7、8（企業番号 1～25）

| No. | 質問 7 | 質問 8 |
|-----|------|---|
| 1 | 3 | 業界的にも目立った施策がないため |
| 2 | 3 | |
| 3 | 3 | |
| 4 | 2 | |
| 5 | 4 | 2019年と2018年で5%くらい低下した為 |
| 6 | 3 | オリンピック年だがあまり期待できない。 |
| 7 | 3 | 現状が底であると感じているが、と言って2020上期が上昇する根拠も乏しく、現状維持精一杯と見ざるををえない |
| 8 | 3 | 増減の兆しがない |
| 9 | 3 | 現在の受注状況による |
| 10 | 3 | |
| 11 | 3 | |
| 12 | 2 | 台風被害が復旧する為 |
| 13 | — | |
| 14 | 4 | 資金需要などが弱含み |
| 15 | 2 | 売上増加を希望しているので |
| 16 | 4 | 質問 6-2 の答えと同じ |
| 17 | 3, 4 | 特別な増加要因がなく、増税の影響も懸念される |
| 18 | 不明 | 取引なし |
| 19 | 2 | 上記理由により |
| 20 | 3 | |
| 21 | 2 | 年間移動値が上がる |
| 22 | 3 | |
| 23 | 3 | 人員の増減がない為 |
| 24 | 3 | 90%固定のお客様なのでほぼ変わらない状況 |
| 25 | 4 | 営業に出る人を減少させる方向であるので |

⑤記述回答 7、8 (企業番号 26～51)

| No. | 質問 7 | 質問 8 |
|-----|------|-----------------------------------|
| 26 | 2 | |
| 27 | 3 | やや減少することも想定しているが、オリンピックにより現状維持とした |
| 28 | 3 | 先が見えない |
| 29 | 3 | |
| 30 | 3 | |
| 31 | 3 | |
| 32 | — | |
| 33 | 4 | |
| 34 | 3 | 今までの動きを見て、急に仕事が増えるとは思えない。 |
| 35 | 3 | 受注商品はほぼ定着している。定期的に受注されている。 |
| 36 | 3 | 低料金の店に流れているか？ |
| 37 | 3 | 減少する要因が見られない (今の所) |
| 38 | 4 | |
| 39 | 4 | 業界としての需要が減ってきているため |
| 40 | 3 | 半期ごとに判断できる業界ではない |
| 41 | 3 | 景気が良くなる要因が見当たらない。乗務員の減少 |
| 42 | 3 | |
| 43 | 2 | 不動産の仕入れがわずかだができた |
| 44 | 3 | 基本的な理由はないが、売り上げの増加する要因が見通せません |
| 45 | 3 | |
| 46 | 3 | 仕事量は例年並み。売上の的には変わらない |
| 47 | 4 | |
| 48 | 3 | |
| 49 | 4 | 取引先からの情報等から予測 |
| 50 | 3 | |
| 51 | 3 | |

⑥記述回答 11、12（企業番号 1～25）

| No. | 質問 11 | 質問 12 | 質問 12 選択肢 7 の回答 |
|-----|-------|---------|-------------------|
| 1 | 3 | 1, 4 | |
| 2 | 3 | 1, 4 | |
| 3 | 3 | 3 | |
| 4 | 3 | 1, 4 | |
| 5 | 3 | 7 | 売上の変化が少なくなると予想する為 |
| 6 | 3 | 1 | |
| 7 | 4 | 1 | |
| 8 | 3 | 3 | |
| 9 | 4 | 1 | |
| 10 | 3 | 3, 4 | |
| 11 | 3 | 3 | |
| 12 | 4 | 1 | |
| 13 | — | — | 資金繰りは困らない |
| 14 | 3 | 7 | 業種柄該当なし |
| 15 | 3 | 1, 4 | |
| 16 | 3 | — | |
| 17 | 4 | 7 | 設備投資を行う予定により |
| 18 | 4 | 1 | |
| 19 | 3 | 1 | |
| 20 | 3 | 3 | |
| 21 | 3 | 2, 3 | |
| 22 | 3 | 1, 4 | |
| 23 | 3 | 4 | |
| 24 | 4 | 1, 3, 4 | |
| 25 | 3 | 5 | |

⑥記述回答 11、12（企業番号 26～51）

| No. | 質問 11 | 質問 12 | 質問 12 選択肢 7 の回答 |
|-----|-------|---------|--------------------|
| 26 | 2 | 1, 4 | |
| 27 | 3 | 3 | |
| 28 | 5 | 1, 3 | |
| 29 | 3 | 1 | |
| 30 | 3 | 1, 2, 3 | |
| 31 | 3 | 3 | |
| 32 | — | — | |
| 33 | 3 | 1 | |
| 34 | 5 | 1 | |
| 35 | 2 | 7 | 借金が「0」になった |
| 36 | 3 | — | |
| 37 | 3 | 1, 3 | |
| 38 | 3 | 1 | |
| 39 | 3 | 1, 3 | |
| 40 | 3 | 1 | |
| 41 | 3 | — | |
| 42 | 3 | 4 | |
| 43 | 3 | 1, 2 | |
| 44 | 3 | 1 | |
| 45 | 3 | 1 | |
| 46 | 3 | 4, 7 | 例年並み（人件費、社内減下請け増し） |
| 47 | 3 | — | |
| 48 | 3 | 7 | 支店であり、本社機能なし |
| 49 | 3 | 3 | |
| 50 | 3 | 1 | |
| 51 | 1 | 7 | 設備の抑制 |

⑦記述回答 13、14（企業番号 1～25）

| No. | 質問 13 | 質問 13 10. その他の回答 | 質問 14 |
|-----|------------|---------------------------|--------------------------------|
| 1 | 2, 3, 4 | | 前年と同じ状況 |
| 2 | 6 | | |
| 3 | 1, 2, 3, 4 | | |
| 4 | 2 | | |
| 5 | 3 | | |
| 6 | 2, 3 | | わずかでも UP できるようにしている。 |
| 7 | 2, 3, 8 | | 上期で定昇はできたが、冬のボーナスは大幅に減額の予定である。 |
| 8 | 1, 2, 3, 4 | | 従業員のリテンションのため |
| 9 | 2, 3 | | 雇用確保のため |
| 10 | 1, 2, 3 | | |
| 11 | — | | |
| 12 | 3 | | 社員の定着を図る為 |
| 13 | 1, 2, 5 | | |
| 14 | 6 | | |
| 15 | 10 | 最低賃金のアップにより アップせざるを得ない | |
| 16 | 9 | 収入が少なくなったから | |
| 17 | 3 | 社内規定により③の実施 が義務であるから | |
| 18 | 3 | | 定期昇給だから |
| 19 | 1, 2, 3, 4 | | 前期の実績により |
| 20 | 6 | | |
| 21 | 1, 2, 3, 4 | | |
| 22 | 5 | | |
| 23 | 2, 3 | | 前年の同条件で今年度も実行される為 |
| 24 | 1, 3 | | 従業員のモチベーションアップ&離職の防止 |
| 25 | 6 | | 歩合給が毎月入っている為 |

⑦記述回答 13、14（企業番号 26～51）

| No. | 質問 13 | 質問 13 10. その他の回答 | 質問 14 |
|-----|------------|---------------------|--|
| 26 | 4 | | |
| 27 | 1, 2, 3 | | 労働組合からの要求もあり、従業員のモチベーションアップのため実施 |
| 28 | 10 | なし | |
| 29 | 6 | | |
| 30 | 2 | | |
| 31 | 6 | | 現時点では変化なし。収入状況や従業員数を見ても変わらないため |
| 32 | — | | |
| 33 | 1, 2, 3, 8 | | |
| 34 | 2, 6 | | 売上げが低迷しているので、昇給やボーナスの増額はできない |
| 35 | 10 | 外注加工費のUP | 年齢的に無理ができなくなった |
| 36 | 6 | | 売り上げが伸びていない |
| 37 | 1, 3, 4 | | 売り上げが好調だったので！ |
| 38 | 2 | | |
| 39 | 6 | | 売り上げは厳しいが、現状維持 |
| 40 | 4, 5 | | 潤いのある職場を目指すため |
| 41 | 6 | | 乗務員不足や販売量の減少により売り上げが上がらない |
| 42 | 2 | | |
| 43 | 1, 2, 3 | | 会社としては通常通りにボーナスを実施できるだけの利益が出ている。会社全体の利益は最高益となるためベースアップもある。 |
| 44 | 3 | | 新入社員の給与アップに伴い、連動して昇級を実施。・栃木県最低賃金の上昇 |
| 45 | 5 | | |
| 46 | 1, 2, 4 | | 人員確保として全体の賃金の底上げ、新規人材確保の条件として賃金UP（社内の） |
| 47 | 6 | | 売上が伸びている |
| 48 | 2 | | |
| 49 | — | | |
| 50 | 2, 3 | | |
| 51 | 3, 4 | | 生産性の向上 |

⑧記述回答 15、16（企業番号 1～25）

| No. | 質問 15 | 質問 15 5. その他の回答 | 質問 16 |
|-----|-------|--------------------|----------------------------------|
| 1 | 3 | | 車販には影響があまりないため |
| 2 | 3 | | |
| 3 | 3 | | |
| 4 | 3 | | |
| 5 | 3 | | 主にの為、8%と同じ |
| 6 | 3 | | 税率UPを前提にしているから。 |
| 7 | 3 | | BtoBなので影響はない |
| 8 | 3 | | なし |
| 9 | 3 | | BtoB取引の為、大きな影響は見られなかった |
| 10 | 4 | | 全体の来店数減少 |
| 11 | 5 | | 販売台数が予想以上に売れていないため |
| 12 | 4 | | 来客数の減少 |
| 13 | 2 | | |
| 14 | 3 | | 業種柄、直接の影響なし |
| 15 | 2, 5 | | ②の後、⑤に移行された |
| 16 | 4 | | |
| 17 | 4 | | 販売量の減少により |
| 18 | 4 | | 消費税を転嫁できないものがある為（自社の設備など自社で使うもの） |
| 19 | 3 | | |
| 20 | 5 | | 今は動きが良くない為 |
| 21 | 2 | | 販売額のUP |
| 22 | 3 | | |
| 23 | 3 | | 契約工期が長い為、影響を受けにくい為 |
| 24 | 3 | | 髪は定期的にカットするので税の引き上げの影響はほとんどない |
| 25 | 4 | | 人の動きの減少のため |

⑧記述回答 15、16（企業番号 26～51）

| No. | 質問 15 | 質問 15 5. その他の回答 | 質問 16 |
|-----|-------|--------------------|---|
| 26 | 3 | | |
| 27 | 3 | | 販売量に大きな変化がない |
| 27 | 3 | | 販売量に大きな変化がない |
| 28 | 3 | | 消費税については問題なし |
| 29 | 3 | | |
| 30 | 4 | | |
| 31 | 4 | | 食品製造に関わる物品・商品を入れる袋等の価格が上がったため |
| 32 | — | | |
| 33 | 3 | | |
| 34 | 5 | | 消費税の引き上げと共に価格の引き上げもあり、弊社の料金は上げていないため支払いの分が増えている。 |
| 35 | 3 | | メーカーもお客様も理解している |
| 36 | 3 | | 消費税対象外 |
| 37 | 3 | | 影響されない義理なので！ |
| 38 | 3 | | |
| 39 | 2, 5 | | 少しのプラスを大幅に超える消費の引き締め効果があったと思います。 |
| 40 | 3 | | 質問 8 に同じ |
| 41 | 4 | | 利用者の財布の紐が堅くなった |
| 42 | 3 | | |
| 43 | 4 | | 住宅は 3 月末までの契約が消費税増税するかしないかのタイミングであったため。10 月は大きい動きはなかった。 |
| 44 | 3 | | 全体で相殺される |
| 45 | 4 | | |
| 46 | 3 | | 工事案件に対しては限定的でした |
| 47 | 3 | | 価格を据え置いたため |
| 48 | 2 | | マイカーローン等個人ローンの件数増加 |
| 49 | 4 | | 増税前のかげこみ需要はあまり見られず |
| 50 | 3 | | |
| 51 | 3 | | 取扱商品 |

<参考資料3> 小山市景気動向アンケート調査（時系列データ）

質問1 小山市の景気の現状（水準）

| | 良い | やや 良い | どちらとも いえない | やや 悪い | 悪い | 無回答 | D I 値 |
|----------------|-----|----------|---------------|----------|------|-----|-------|
| 今回 令和元年7～12月 | 0 | 11.8 | 35.3 | 45.1 | 5.9 | 2.0 | 38.5 |
| 前回 元年 1～6月 | 2.2 | 10.9 | 47.8 | 37.0 | 0 | 2.2 | 44.5 |
| 前々回 平成30年7～12月 | 2.2 | 24.4 | 55.6 | 13.3 | 4.4 | 0 | 51.6 |
| 第32回 30年 1～6月 | 0 | 31.6 | 55.3 | 10.5 | 0 | 2.6 | 55.4 |
| 第31回 29年7～12月 | 0 | 32.6 | 58.1 | 4.7 | 4.7 | 0 | 54.7 |
| 第30回 29年 1～6月 | 0 | 17.0 | 59.6 | 19.1 | 4.3 | 0 | 47.3 |
| 第29回 28年7～12月 | 0 | 14.6 | 47.9 | 31.3 | 6.3 | 0 | 42.7 |
| 第28回 28年 1～6月 | 0 | 9.3 | 64.8 | 20.4 | 5.6 | 0 | 44.5 |
| 第27回 27年7～12月 | 0 | 21.7 | 56.5 | 21.7 | 0 | 0 | 50.0 |
| 第26回 27年 1～6月 | 0 | 22.4 | 49.0 | 20.4 | 8.2 | 0 | 46.4 |
| 第25回 26年7～12月 | 0 | 10.9 | 50.0 | 32.6 | 6.5 | 0 | 42.7 |
| 第24回 26年 1～6月 | 2.0 | 16.0 | 54.0 | 16.0 | 8.0 | 4.0 | 46.9 |
| 第23回 25年7～12月 | 2.0 | 28.6 | 49.0 | 16.3 | 4.1 | 0 | 52.0 |
| 第22回 25年 1～6月 | 0 | 18.5 | 48.1 | 31.5 | 1.9 | 0 | 45.8 |
| 第21回 24年7～12月 | 0 | 4.1 | 44.9 | 34.7 | 16.3 | 0 | 34.2 |
| 第20回 24年 1～6月 | 0 | 14.6 | 29.2 | 43.7 | 12.5 | 0 | 36.7 |
| 第19回 23年7～12月 | 1.8 | 9.2 | 25.5 | 45.5 | 18 | 0 | 32.8 |
| 第18回 23年 1～6月 | 0 | 1.9 | 15.4 | 50 | 30.8 | 1.9 | 22.0 |
| 第17回 22年7～12月 | 0 | 6.7 | 33.3 | 40 | 20 | 0 | 31.7 |
| 第16回 22年 1～6月 | 0 | 10.4 | 27.1 | 39.6 | 22.9 | 0 | 31.3 |
| 第15回 21年7～12月 | 0 | 2.1 | 4.2 | 41.7 | 52.0 | 0 | 14.1 |
| 第14回 21年 1～6月 | 0 | 1.8 | 1.8 | 38.6 | 57.8 | 0 | 11.9 |
| 第13回 20年7～12月 | 0 | 0 | 4.3 | 36.2 | 59.5 | 0 | 11.2 |
| 第12回 20年 1～6月 | 0 | 2.2 | 13.3 | 66.7 | 17.8 | 0 | 25.0 |
| 第11回 19年7～12月 | 0 | 0 | 38.3 | 53.2 | 8.5 | 0 | 32.5 |
| 第10回 19年 1～6月 | 0 | 23.1 | 45.2 | 27.9 | 3.8 | 0 | 46.9 |
| 第9回 18年7～12月 | 0 | 20.8 | 35.4 | 33.3 | 10.5 | 0 | 41.6 |
| 第8回 18年 1～6月 | 0 | 25.5 | 53.2 | 14.9 | 6.4 | 0 | 49.5 |
| 第7回 17年7～12月 | 0 | 28.9 | 44.4 | 22.2 | 4.5 | 0 | 49.4 |
| 第6回 17年 1～6月 | 0 | 14.6 | 29.3 | 51.0 | 5.1 | 0 | 38.4 |
| 第5回 16年7～12月 | 0 | 12.5 | 27.5 | 42.5 | 17.5 | 0 | 33.8 |

質問1 小山市の景気の現状（水準）

| | | 良い | やや 良い | どちらとも いえない | やや 悪い | 悪い | 無回答 | D I 値 |
|-----|-------------|-----|----------|---------------|----------|------|-----|-------|
| 第4回 | 16年 1～6月 | 0 | 16.7 | 38.1 | 33.3 | 11.9 | 0 | 39.9 |
| 第3回 | 15年 7～12月 | 0 | 12.0 | 18.0 | 40.0 | 30.0 | 0 | 28.0 |
| 第2回 | 15年 1～6月 | 1.6 | 0 | 16.4 | 44.3 | 37.7 | 0 | 20.9 |
| 初回 | 平成14年 7～12月 | 0 | 1.2 | 7.4 | 37.0 | 54.4 | 0 | 13.9 |

質問3 小山市の景気の先行き（来半期見通し）

| 見通し対象時期 | 良くなる | やや良くなる | 変わらない | やや悪くなる | 悪くなる | 無回答 | D I 値 |
|----------------|------|--------|-------|--------|------|-----|-------|
| 今回 令和2年 1～6月 | 0 | 15.7 | 56.9 | 25.5 | 0 | 2.0 | 47.6 |
| 前回 元年 7～12月 | 2.2 | 10.9 | 54.3 | 28.3 | 2.2 | 2.2 | 45.6 |
| 前々回 元年 1～6月 | 0 | 31.1 | 57.8 | 11.1 | 0 | 0 | 55.0 |
| 第32回 30年 7～12月 | 2.6 | 15.8 | 68.4 | 13.2 | 0 | 0 | 52.0 |
| 第31回 30年 1～6月 | 0 | 39.5 | 53.5 | 7.0 | 0 | 0 | 58.1 |
| 第30回 29年 7～12月 | 0 | 19.1 | 63.8 | 14.9 | 2.1 | 0 | 50.0 |
| 第29回 29年 1～6月 | 0 | 24.5 | 61.2 | 12.2 | 2.0 | 0 | 52.0 |
| 第28回 28年 7～12月 | 1.9 | 11.1 | 53.7 | 29.6 | 3.7 | 0 | 44.5 |
| 第27回 28年 1～6月 | 0 | 21.7 | 60.9 | 17.4 | 0 | 0 | 51.1 |
| 第26回 27年 7～12月 | 0 | 30.6 | 55.1 | 12.3 | 2.0 | 0.0 | 53.6 |
| 第25回 27年 1～6月 | 0 | 26.1 | 45.7 | 21.7 | 4.3 | 2.2 | 48.9 |
| 第24回 26年 7～12月 | 0 | 24.0 | 46.0 | 26.0 | 4.0 | 0 | 47.5 |
| 第23回 26年 1～6月 | 4.1 | 28.6 | 42.9 | 22.4 | 2.0 | 0 | 52.6 |
| 第22回 25年 7～12月 | 1.9 | 37.0 | 50.0 | 7.4 | 3.7 | 0 | 56.5 |
| 第21回 25年 1～6月 | 2.0 | 36.7 | 42.9 | 14.3 | 4.1 | 0 | 54.6 |
| 第20回 24年 7～12月 | 0 | 20.8 | 43.8 | 27.1 | 8.3 | 0 | 44.3 |
| 第19回 24年 1～6月 | 0 | 16.4 | 47.3 | 27.3 | 7.3 | 1.7 | 43.6 |
| 第18回 23年 7～12月 | 3.8 | 21.2 | 38.5 | 23.1 | 13.4 | 0 | 44.7 |
| 第17回 23年 1～6月 | 0 | 6.7 | 64.4 | 24.4 | 4.5 | 0 | 43.3 |
| 第16回 22年 7～12月 | 2.1 | 29.2 | 52.1 | 6.3 | 8.3 | 2.0 | 52.7 |
| 第15回 22年 1～6月 | 0 | 8.3 | 37.5 | 33.3 | 20.9 | 0 | 33.3 |
| 第14回 21年 7～12月 | 1.8 | 17.5 | 36.8 | 27.2 | 14.9 | 1.8 | 40.9 |
| 第13回 21年 1～6月 | 0 | 0 | 10.6 | 12.8 | 74.5 | 2.1 | 8.7 |
| 第12回 20年 7～12月 | 0 | 2.2 | 13.3 | 68.9 | 15.6 | 0 | 25.5 |
| 第11回 20年 1～6月 | 0 | 8.5 | 42.6 | 42.6 | 4.3 | 2 | 39.1 |
| 第10回 19年 7～12月 | 1.9 | 19.2 | 58.7 | 20.2 | 0 | 0 | 50.7 |
| 第9回 19年 1～6月 | 2.1 | 25.0 | 58.3 | 10.4 | 4.2 | 0 | 52.6 |
| 第8回 18年 7～12月 | 0 | 31.9 | 51.1 | 17.0 | 0 | 0 | 53.7 |
| 第7回 18年 1～6月 | 2.2 | 51.1 | 40 | 6.7 | 0 | 0 | 62.2 |
| 第6回 17年 7～12月 | 0 | 17.1 | 48.8 | 26.8 | 7.3 | 0 | 43.9 |
| 第5回 17年 1～6月 | 0 | 9.8 | 41.5 | 43.9 | 4.8 | 0 | 39.1 |
| 第4回 16年 7～12月 | 0 | 33.3 | 50 | 11.1 | 5.6 | 0 | 52.8 |

質問3 小山市の景気の先行き（来半期見通し）

| 見通し対象時期 | 良くなる | やや良くなる | 変わらない | やや悪くなる | 悪くなる | 無回答 | D I 値 |
|---------------|------|--------|-------|--------|------|-----|-------|
| 第3回 16年 1～6月 | 0 | 18.0 | 32.0 | 34.0 | 16.0 | 0 | 38.0 |
| 第2回 15年 7～12月 | 1.6 | 3.3 | 47.5 | 32.8 | 14.8 | 0 | 36.0 |
| 初回 15年 1～6月 | 0 | 8.6 | 30.9 | 30.9 | 27.2 | 2.4 | 30.4 |

質問5 業界の小山市における売上（売上金額の増減）

| | | 増加した | やや増加 | 変わらない | やや減少 | 減少した | 無回答 | D I 値 |
|------|------------|------|------|-------|------|------|-----|-------|
| 今回 | 令和元年7～12月 | 0 | 13.7 | 35.3 | 43.1 | 3.9 | 3.9 | 40.3 |
| 前回 | 元年 1～6月 | 4.3 | 15.2 | 39.1 | 30.4 | 8.7 | 2.2 | 43.8 |
| 前々回 | 平成30年7～12月 | 4.4 | 22.2 | 48.9 | 20.0 | 2.2 | 2.2 | 51.6 |
| 第32回 | 30年 1～6月 | 0 | 23.7 | 50.0 | 23.7 | 2.6 | 0 | 48.7 |
| 第31回 | 29年7～12月 | 2.3 | 25.6 | 51.2 | 16.3 | 4.7 | 0 | 51.2 |
| 第30回 | 29年 1～6月 | 2.1 | 14.9 | 55.3 | 25.5 | 2.1 | 0 | 47.3 |
| 第29回 | 28年7～12月 | 0 | 10.2 | 59.2 | 28.6 | 2.0 | 0 | 45.4 |
| 第28回 | 28年 1～6月 | 0 | 20.4 | 44.4 | 24.1 | 11.1 | 0 | 44.5 |
| 第27回 | 27年7～12月 | 0 | 23.9 | 50 | 21.7 | 4.3 | 0 | 49.4 |
| 第26回 | 27年 1～6月 | 2.0 | 16.3 | 47.0 | 26.5 | 6.1 | 2.0 | 45.4 |
| 第25回 | 26年7～12月 | 2.2 | 10.9 | 47.8 | 32.6 | 6.5 | 0.0 | 43.3 |
| 第24回 | 26年 1～6月 | 2.0 | 22.0 | 30.0 | 30.0 | 14.0 | 2.0 | 41.8 |
| 第23回 | 25年7～12月 | 8.2 | 30.6 | 36.7 | 16.3 | 8.2 | 0 | 53.6 |
| 第22回 | 25年 1～6月 | 1.9 | 18.5 | 37.0 | 37.0 | 3.7 | 1.9 | 44.4 |
| 第21回 | 24年7～12月 | 0 | 10.2 | 36.7 | 30.6 | 20.4 | 2.1 | 34.3 |
| 第20回 | 24年 1～6月 | 2.1 | 20.8 | 33.3 | 29.2 | 14.6 | 0 | 42.4 |
| 第19回 | 23年7～12月 | 7.3 | 27.3 | 18.2 | 29.1 | 16.3 | 1.8 | 45.0 |
| 第18回 | 23年 1～6月 | 0 | 3.8 | 17.3 | 46.2 | 30.8 | 1.9 | 23.5 |
| 第17回 | 22年7～12月 | 4.4 | 20 | 42.2 | 24.4 | 9 | 0 | 46.6 |
| 第16回 | 22年 1～6月 | 2.1 | 20.8 | 33.3 | 27.1 | 14.6 | 2.1 | 42.0 |
| 第15回 | 21年7～12月 | 2.1 | 4.2 | 29.2 | 39.6 | 24.9 | 0 | 29.8 |
| 第14回 | 21年 1～6月 | 1.8 | 3.5 | 10.5 | 49.1 | 33.3 | 1.8 | 22.4 |
| 第13回 | 20年7～12月 | 0 | 0 | 14.9 | 42.6 | 38.2 | 4.3 | 18.9 |
| 第12回 | 20年 1～6月 | 0 | 6.7 | 26.7 | 46.7 | 19.9 | 0 | 30.1 |
| 第11回 | 19年7～12月 | 0 | 6.4 | 40.4 | 40.4 | 12.8 | 0 | 35.1 |
| 第10回 | 19年 1～6月 | 1.9 | 17.3 | 36.5 | 36.5 | 3.9 | 3.9 | 43.9 |
| 第9回 | 18年7～12月 | 4.2 | 18.8 | 41.7 | 25 | 8.2 | 2.1 | 46.4 |
| 第8回 | 18年 1～6月 | 0 | 34.0 | 46.8 | 14.9 | 4.3 | 0 | 52.6 |
| 第7回 | 17年7～12月 | 2.2 | 40.0 | 28.9 | 20.0 | 6.7 | 2.2 | 52.8 |
| 第6回 | 17年 1～6月 | 0 | 19.5 | 31.7 | 41.5 | 7.3 | 0 | 41.5 |
| 第5回 | 16年7～12月 | 2.5 | 15.0 | 35.0 | 30.0 | 17.5 | 0 | 38.8 |
| 第4回 | 16年 1～6月 | 2.8 | 19.4 | 30.6 | 38.9 | 8.3 | 0 | 42.4 |

質問5 業界の小山市における売上（売上金額の増減）

| | | 増加した | やや増加 | 変わらない | やや減少 | 減少した | 無回答 | D I 値 |
|-----|----------|------|------|-------|------|------|-----|-------|
| 第3回 | 15年7～12月 | 4.0 | 14.0 | 28.0 | 38.0 | 14.0 | 2.0 | 38.8 |
| 第2回 | 15年1～6月 | 3.4 | 11.9 | 30.5 | 39.0 | 15.3 | 0 | 37.3 |
| 初回 | 14年7～12月 | 2.5 | 8.6 | 21.0 | 28.4 | 37.0 | 2.5 | 27.2 |

質問7 業界の小山市の売上高見通し（来半期の見通し）

| 見通し対象時期 | 増加する | やや増加する | 変わらない | やや減少する | 減少する | 無回答 | D I 値 |
|----------------|------|--------|-------|--------|------|-----|-------|
| 今回 令和2年 1～6月 | 0 | 13.7 | 61.8 | 18.6 | 0 | 5.9 | 48.7 |
| 前回 元年 7～12月 | 2.2 | 21.7 | 38.0 | 29.3 | 4.3 | 4.3 | 46.8 |
| 前々回 元年 1～6月 | 2.2 | 24.4 | 57.8 | 15.6 | 0 | 0 | 53.3 |
| 第32回 30年 7～12月 | 5.3 | 15.8 | 63.2 | 15.8 | 0 | 0 | 52.7 |
| 第31回 30年 1～6月 | 0 | 30.2 | 53.5 | 14.0 | 2.3 | 0 | 52.9 |
| 第30回 29年 7～12月 | 0 | 10.6 | 66.0 | 19.1 | 4.3 | 0 | 45.7 |
| 第29回 29年 1～6月 | 0 | 18.4 | 61.2 | 18.4 | 2.0 | 0 | 49.0 |
| 第28回 28年 7～12月 | 5.6 | 22.2 | 44.4 | 22.2 | 5.6 | 0 | 50.0 |
| 第27回 28年 1～6月 | 0 | 17.4 | 50.0 | 28.3 | 2.2 | 0 | 45.1 |
| 第26回 27年 7～12月 | 0 | 18.4 | 55.1 | 24.5 | 2.0 | 0 | 47.5 |
| 第25回 27年 1～6月 | 0 | 23.9 | 43.5 | 23.9 | 6.5 | 2.2 | 47.4 |
| 第24回 26年 7～12月 | 2.0 | 18.0 | 44.0 | 28.0 | 6.0 | 2.0 | 45.4 |
| 第23回 26年 1～6月 | 2.0 | 26.5 | 44.9 | 16.3 | 10.2 | 0 | 48.4 |
| 第22回 25年 7～12月 | 1.9 | 33.3 | 48.1 | 9.3 | 5.5 | 1.9 | 54.3 |
| 第21回 25年 1～6月 | 2.0 | 32.7 | 34.7 | 18.4 | 10.2 | 2.0 | 49.5 |
| 第20回 24年 7～12月 | 0 | 16.7 | 39.6 | 27.1 | 14.5 | 2.1 | 39.9 |
| 第19回 24年 1～6月 | 0 | 18.2 | 50.9 | 23.6 | 7.3 | 0 | 45.0 |
| 第18回 23年 7～12月 | 3.8 | 13.5 | 40.4 | 28.8 | 11.6 | 1.9 | 42.1 |
| 第17回 23年 1～6月 | 4.4 | 15.6 | 57.8 | 17.8 | 4.4 | 0 | 49.5 |
| 第16回 22年 7～12月 | 0 | 27.1 | 47.9 | 10.4 | 10.4 | 4.2 | 48.9 |
| 第15回 22年 1～6月 | 0 | 10.4 | 39.6 | 31.3 | 18.7 | 0 | 35.4 |
| 第14回 21年 7～12月 | 1.8 | 17.5 | 31.6 | 35.1 | 12.2 | 1.8 | 40.2 |
| 第13回 21年 1～6月 | 0 | 2.1 | 14.9 | 19.1 | 59.6 | 4.3 | 14.4 |
| 第12回 20年 7～12月 | 0 | 4.4 | 24.4 | 53.3 | 17.9 | 0 | 28.8 |
| 第11回 20年 1～6月 | 0 | 10.6 | 44.7 | 38.3 | 6.4 | 0 | 39.9 |
| 第10回 19年 7～12月 | 1.9 | 23.1 | 57.7 | 13.5 | 0 | 3.8 | 53.5 |
| 第9回 19年 1～6月 | 2.1 | 29.2 | 39.6 | 16.7 | 6.2 | 6.2 | 51.2 |
| 第8回 18年 7～12月 | 2.1 | 21.3 | 59.6 | 10.6 | 4.3 | 2.1 | 51.6 |
| 第7回 18年 1～6月 | 0 | 35.6 | 42.2 | 13.3 | 4.5 | 4.4 | 53.5 |
| 第6回 17年 7～12月 | 0 | 22 | 51.2 | 26.8 | 0 | 0 | 48.8 |
| 第5回 17年 1～6月 | 2.5 | 17.5 | 27.5 | 40 | 10 | 2.5 | 40.4 |
| 第4回 16年 7～12月 | 0 | 19.4 | 58.3 | 13.9 | 2.8 | 5.6 | 50.0 |

質問7 業界の小山市の売上高見通し（来半期の見通し）

| 見通し対象時期 | 増加する | やや増加する | 変わらない | やや減少する | 減少する | 無回答 | D I 値 |
|---------------|------|--------|-------|--------|------|-----|-------|
| 第3回 16年 1～6月 | 2.0 | 18.0 | 34.0 | 30.0 | 12.0 | 4.0 | 41.7 |
| 第2回 15年 7～12月 | 0 | 10.0 | 43.3 | 31.7 | 15.0 | 0 | 37.1 |
| 初回 15年 1～6月 | 0 | 8.6 | 30.9 | 30.9 | 27.2 | 2.4 | 30.4 |

質問9 来半期の販売価格見通し⁴

| 見通し対象時期 | 上昇する | やや上昇する | 変わらない | やや低下する | 低下する | 無回答 | D I 値 |
|------------------|------|--------|-------|--------|------|-----|-------|
| 今回 令和2年 1～6月 | 0 | 19.6 | 55.9 | 18.6 | 0 | 5.9 | 50.3 |
| 前回 元年 7～12月 | 2.2 | 17.4 | 52.2 | 23.9 | 0 | 4.3 | 49.5 |
| 前々回 元年 1～6月 | 0 | 13.3 | 71.1 | 13.3 | 13.3 | 0 | 48.9 |
| 第32回 平成30年 7～12月 | 0 | 10.5 | 73.7 | 13.2 | 0 | 2.6 | 49.3 |
| 第31回 30年 1～6月 | 0 | 18.6 | 69.8 | 11.6 | 0 | 0 | 51.8 |
| 第30回 29年 7～12月 | 14.9 | 23.4 | 57.4 | 4.3 | 0 | 0 | 62.2 |
| 第29回 29年 1～6月 | 0 | 21.3 | 61.7 | 10.6 | 2.1 | 4.3 | 51.7 |
| 第28回 28年 7～12月 | 0 | 9.3 | 64.8 | 18.5 | 3.7 | 3.7 | 45.7 |
| 第27回 28年 1～6月 | 2.2 | 13.0 | 63.0 | 19.6 | 2.2 | 0 | 48.4 |
| 第26回 27年 7～12月 | 0 | 18.4 | 65.3 | 14.3 | 0 | 2.0 | 51.0 |
| 第25回 27年 1～6月 | 0 | 22.9 | 58.3 | 12.5 | 4.2 | 2.1 | 50.5 |
| 第24回 26年 7～12月 | 2.0 | 20.0 | 62.0 | 12.0 | 2.0 | 2.0 | 52.0 |
| 第23回 26年 1～6月 | 4.1 | 22.4 | 47.0 | 20.4 | 4.1 | 2.0 | 50.5 |
| 第22回 25年 7～12月 | 0.0 | 25.9 | 51.9 | 14.8 | 1.8 | 5.6 | 52.0 |
| 第21回 25年 1～6月 | 2.0 | 16.3 | 51 | 22.5 | 4.1 | 4.1 | 46.3 |
| 第20回 24年 7～12月 | 0 | 10.4 | 47.9 | 35.4 | 6.3 | 0 | 40.6 |
| 第19回 24年 1～6月 | 0 | 9.1 | 50.9 | 30.9 | 5.5 | 3.6 | 41.5 |
| 第18回 23年 7～12月 | 0 | 7.7 | 46.2 | 36.5 | 5.8 | 3.8 | 39.5 |
| 第17回 23年 1～6月 | 0 | 11.1 | 51.1 | 35.6 | 2.2 | 0 | 42.8 |
| 第16回 22年 7～12月 | 0 | 12.5 | 54.2 | 31.3 | 2.0 | 0 | 44.3 |
| 第15回 22年 1～6月 | 0 | 4.2 | 39.6 | 41.7 | 14.5 | 0 | 33.4 |
| 第14回 21年 7～12月 | 1.8 | 10.5 | 43.9 | 29.8 | 10.5 | 3.5 | 40.5 |
| 第13回 21年 1～6月 | 0 | 4.3 | 23.4 | 40.4 | 29.8 | 2.1 | 25.6 |
| 第12回 20年 7～12月 | 4.4 | 17.8 | 25.6 | 43.3 | 6.7 | 2.2 | 41.4 |
| 第11回 20年 1～6月 | 2.1 | 16.0 | 43.6 | 29.8 | 4.2 | 4.3 | 45.3 |
| 第10回 19年 7～12月 | 1.9 | 17.3 | 50.0 | 26.9 | 2.0 | 1.9 | 47.5 |
| 第9回 19年 1～6月 | 2.1 | 18.8 | 54.2 | 16.7 | 4.1 | 4.1 | 49.6 |
| 第8回 18年 7～12月 | 0 | 25.5 | 46.8 | 21.3 | 2.1 | 4.3 | 50.0 |
| 第7回 18年 1～6月 | 0 | 26.7 | 46.7 | 20.0 | 4.4 | 2.2 | 49.5 |
| 第6回 17年 7～12月 | 0 | 14.6 | 48.8 | 29.3 | 0 | 7.3 | 46.0 |
| 第5回 17年 1～6月 | 0 | 8.1 | 45.9 | 40.5 | 5.5 | 0 | 39.2 |

⁴ 販売価格見通し、雇用見通しは第2回から実施

質問9 来半期の販売価格見通し

| 見通し対象時期 | 上昇する | やや上昇する | 変わらない | やや低下する | 低下する | 無回答 | D I 値 |
|--------------|------|--------|-------|--------|------|-----|-------|
| 第4回 16年7～12月 | 0 | 8.3 | 61.1 | 22.2 | 5.6 | 2.8 | 43.5 |
| 第3回 16年1～6月 | 0 | 12.0 | 38.0 | 40.0 | 6.0 | 4.0 | 38.8 |
| 第2回 15年7～12月 | 0 | 8.6 | 32.8 | 48.3 | 10.3 | 0 | 34.9 |

質問 10 来半期の雇用見通し

| 見通し対象時期 | 不足する | やや不足する | 横ばい | やや過剰となる | 過剰となる | 無回答 | D I 値 |
|------------------|------|--------|------|---------|-------|-----|-------|
| 今回 令和2年 1～6月 | 9.8 | 21.6 | 56.9 | 5.9 | 0 | 5.9 | 59.4 |
| 前回 元年 7～12月 | 4.3 | 23.9 | 63.0 | 4.3 | 0 | 4.3 | 57.3 |
| 前々回 元年 1～6月 | 13.3 | 35.6 | 46.7 | 0 | 2.2 | 2.2 | 64.8 |
| 第32回 平成30年 7～12月 | 2.6 | 21.1 | 65.8 | 7.9 | 0 | 2.6 | 54.7 |
| 第31回 30年 1～6月 | 7.0 | 30.2 | 60.5 | 2.3 | 0 | 0 | 60.5 |
| 第30回 29年 7～12月 | 14.9 | 23.4 | 57.4 | 4.3 | 0 | 0 | 62.2 |
| 第29回 29年 1～6月 | 10.6 | 34.0 | 53.2 | 2.1 | 0 | 0 | 65.7 |
| 第28回 28年 7～12月 | 3.7 | 18.5 | 70.4 | 1.9 | 1.9 | 3.7 | 55.3 |
| 第27回 28年 1～6月 | 0 | 26.2 | 64.3 | 7.1 | 2.4 | 0 | 53.6 |
| 第26回 27年 7～12月 | 6.1 | 22.5 | 65.3 | 4.1 | 0 | 2.0 | 57.8 |
| 第25回 27年 1～6月 | 8.3 | 33.3 | 54.2 | 2.1 | 2.1 | 0 | 62.3 |
| 第24回 26年 7～12月 | 0 | 28.6 | 67.4 | 2.0 | 2.0 | 0 | 55.7 |
| 第23回 26年 1～6月 | 2.0 | 26.5 | 59.2 | 8.2 | 0 | 4.1 | 55.8 |
| 第22回 25年 7～12月 | 0 | 11.1 | 77.8 | 7.4 | 0 | 3.7 | 51.0 |
| 第21回 25年 1～6月 | 0 | 14.3 | 67.3 | 14.3 | 2.1 | 2.0 | 48.9 |
| 第20回 24年 7～12月 | 0 | 6.3 | 62.5 | 20.8 | 6.3 | 4.1 | 43.0 |
| 第19回 24年 1～6月 | 1.8 | 18.2 | 63.6 | 9.1 | 1.8 | 5.5 | 52.4 |
| 第18回 23年 7～12月 | 0 | 9.6 | 61.5 | 23.1 | 2.0 | 3.8 | 45.5 |
| 第17回 23年 1～6月 | 0 | 6.7 | 64.4 | 26.7 | 2.2 | 0 | 43.9 |
| 第16回 22年 7～12月 | 2.1 | 8.3 | 66.7 | 12.5 | 6.2 | 4.2 | 46.8 |
| 第15回 22年 1～6月 | 2.1 | 2.1 | 54.2 | 35.4 | 4.1 | 2.1 | 40.5 |
| 第14回 21年 7～12月 | 0 | 7.0 | 56.1 | 24.6 | 3.5 | 8.8 | 43.3 |
| 第13回 21年 1～6月 | 4.3 | 2.1 | 34.0 | 36.2 | 14.9 | 8.5 | 34.9 |
| 第12回 20年 7～12月 | 0 | 11.1 | 80.0 | 8.9 | 0 | 0 | 50.6 |
| 第11回 20年 1～6月 | 2.1 | 17.0 | 70.2 | 6.4 | 0 | 4.3 | 53.9 |
| 第10回 19年 7～12月 | 3.8 | 26.9 | 63.5 | 1.9 | 0 | 3.9 | 58.4 |
| 第9回 19年 1～6月 | 8.3 | 22.9 | 52.1 | 8.3 | 0 | 8.4 | 58.5 |
| 第8回 18年 7～12月 | 2.1 | 21.3 | 53.2 | 14.9 | 2.1 | 6.4 | 51.7 |
| 第7回 18年 1～6月 | 0 | 13.3 | 73.3 | 6.7 | 2.3 | 4.4 | 50.5 |
| 第6回 17年 7～12月 | 0 | 22.0 | 61.0 | 9.8 | 0 | 7.2 | 53.3 |
| 第5回 17年 1～6月 | 5.0 | 5.0 | 65.0 | 20 | 2.5 | 2.5 | 47.4 |
| 第4回 16年 7～12月 | 0 | 16.7 | 72.2 | 8.3 | 2.8 | 0 | 50.7 |

質問 10 来半期の雇用見通し

| 見通し対象時期 | 不足する | やや不足する | 横ばい | やや過剰となる | 過剰となる | 無回答 | D I 値 |
|-------------------|------|--------|------|---------|-------|-----|-------|
| 第 3 回 16 年 1～6 月 | 0 | 8.0 | 56.0 | 30.0 | 4.0 | 2.0 | 42.3 |
| 第 2 回 15 年 7～12 月 | 0 | 8.8 | 57.9 | 28.1 | 5.2 | 0 | 42.6 |

質問 11 資金繰りの状況（前半期との比較）

| | | 改善した | やや改善 | どちらとも いえない | やや悪化 | 悪化した | 無回答 | D I 値 |
|--------|-------------|------|------|---------------|------|------|-----|-------|
| 今回 | 令和元年 7～12 月 | 2.0 | 3.9 | 74.5 | 11.8 | 3.9 | 3.9 | 47.0 |
| 前回 | 元年 1～6 月 | 6.5 | 8.7 | 69.6 | 13.0 | 0 | 2.2 | 52.2 |
| 前々回 | 30 年 7～12 月 | 2.2 | 24.4 | 62.2 | 11.1 | 0 | 0 | 54.4 |
| 第 32 回 | 30 年 1～6 月 | 2.6 | 15.8 | 68.4 | 10.5 | 0 | 2.6 | 52.6 |
| 第 31 回 | 29 年 7～12 月 | 4.7 | 14.0 | 62.8 | 18.6 | 0 | 0 | 51.3 |
| 第 30 回 | 29 年 1～6 月 | 4.3 | 17.0 | 70.2 | 8.5 | 0 | 0 | 54.3 |
| 第 29 回 | 28 年 7～12 月 | 2.1 | 17.0 | 68.1 | 12.8 | 0 | 0 | 53.1 |
| 第 28 回 | 28 年 1～6 月 | 7.4 | 9.3 | 61.1 | 18.5 | 1.9 | 1.9 | 50.5 |
| 第 27 回 | 27 年 7～12 月 | 4.3 | 10.9 | 69.6 | 13.0 | 2.0 | 2.2 | 51.7 |
| 第 26 回 | 27 年 1～6 月 | 2.0 | 6.2 | 71.4 | 16.4 | 2.0 | 2.0 | 47.4 |
| 第 25 回 | 26 年 7～12 月 | 2.1 | 10.4 | 64.6 | 20.8 | 0 | 2.1 | 48.4 |
| 第 24 回 | 26 年 1～6 月 | 4.0 | 20.0 | 56.0 | 18.0 | 2.0 | 0 | 51.5 |
| 第 23 回 | 25 年 7～12 月 | 4.1 | 16.3 | 59.2 | 18.4 | 0 | 2.0 | 51.6 |
| 第 22 回 | 25 年 1～6 月 | 3.7 | 22.2 | 51.9 | 18.5 | 0 | 3.7 | 52.9 |
| 第 21 回 | 24 年 7～12 月 | 6.1 | 16.3 | 53.1 | 14.3 | 8.2 | 2.0 | 49.4 |
| 第 20 回 | 24 年 1～6 月 | 2.1 | 18.8 | 58.3 | 8.3 | 8.3 | 4.2 | 49.5 |
| 第 19 回 | 23 年 7～12 月 | 9.1 | 7.3 | 50.0 | 20.9 | 7.2 | 5.5 | 47.4 |
| 第 18 回 | 23 年 1～6 月 | 0 | 9.6 | 48.1 | 26.9 | 11.6 | 3.8 | 39.5 |
| 第 17 回 | 22 年 7～12 月 | 0 | 17.8 | 55.6 | 15.6 | 8.8 | 2.2 | 46.1 |
| 第 16 回 | 22 年 1～6 月 | 4.2 | 8.3 | 54.2 | 27.1 | 6.2 | 0 | 44.3 |
| 第 15 回 | 21 年 7～12 月 | 2.1 | 4.2 | 62.5 | 16.7 | 14.5 | 0 | 40.7 |
| 第 14 回 | 21 年 1～6 月 | 3.5 | 10.5 | 33.3 | 36.8 | 10.6 | 5.3 | 39.3 |
| 第 13 回 | 20 年 7～12 月 | 2.1 | 6.4 | 44.7 | 34.0 | 12.8 | 0 | 37.8 |
| 第 12 回 | 20 年 1～6 月 | 0 | 13.3 | 48.9 | 35.6 | 2.2 | 0 | 0.0 |
| 第 11 回 | 19 年 7～12 月 | 4.3 | 8.5 | 46.8 | 27.7 | 6.3 | 6.4 | 43.8 |
| 第 10 回 | 19 年 1～6 月 | 3.8 | 17.3 | 53.8 | 21.2 | 0.0 | 3.9 | 50.9 |
| 第 9 回 | 18 年 7～12 月 | 6.3 | 16.7 | 54.2 | 12.5 | 6.1 | 4.2 | 51.2 |
| 第 8 回 | 18 年 1～6 月 | 0 | 21.3 | 59.6 | 12.8 | 2.0 | 4.3 | 51.2 |

⁵ この項目は第 8 回から調査を実施。